

令和6年度第5回
モニターアンケート結果報告書

板橋区の環境について

板橋区政策経営部広聴広報課

— 目 次 —

ページ

アンケート概要	1
基本情報	
問1	あなたの性別をお答えください。2
問2	あなたの年齢をお答えください。2
問3	あなたのお住まいの地域（町丁目まで）を教えてください。3
問4	あなたの家の世帯構成を教えてください。3
問5	あなたが住まいの家の住居形態を教えてください。4
問6	区内にお住まいの年数を教えてください。4
板橋区の環境について	
問7	あなたが関心を持っている環境問題について、当てはまるものを選んでください。（複数回答可）5～6
問8	環境問題に対する次の意見や考えについて、あなたの意見や考えに最も近いものを選んでください。6～7
問9	あなたは、身の回りの環境について、どのように感じていますか。当てはまるものを選んでください。8～13
問10-1	地球温暖化の防止に関するあなたの取組の状況について、当てはまるものを選んでください。13～20
問10-2	問10-1で「実行したいが困難である」または「実行するつもりはない」を1つでも選んだ方に伺います。これらを選んだ理由を教えてください。【自由記述】21
問11-1	ごみの発生抑制と資源の循環利用に関するあなたの取組の状況について、当てはまるものを選んでください。22～25
問11-2	問11-1で「実行したいが困難である」または「実行するつもりはない」を1つでも選んだ方に伺います。これらを選んだ理由を教えてください。【自由記述】26
問12-1	緑や水辺、生きもの保全に関するあなたの取組の状況について、当てはまるものを選んでください。27～31
問12-2	問12-1で「実行したいが困難である」または「実行するつもりはない」を1つでも選んだ方に伺います。これらを選んだ理由を教えてください。【自由記述】31～32
問13-1	近隣の生活環境の保全に関するあなたの取組の状況について、当てはまるものを選んでください。32～35
問13-2	問13-1で「実行したいが困難である」または「実行するつもりはない」を1つでも選んだ方に伺います。これらを選んだ理由を教えてください。【自由記述】35
問14-1	環境教育・環境保全活動に関するあなたの取組の状況について、当てはまるものを選んでください。36～37
問14-2	問14-1で「実行したいが困難である」または「実行するつもりはない」を1つでも選んだ方に伺います。これらを選んだ理由を教えてください。【自由記述】38
問15-1	次の環境に関する活動への参加状況について、当てはまるものを選んでください。39～42

問15-2	問15-1「⑦その他の活動」について、具体的な内容があればご入力ください。	42
問16	板橋区の次の取組、施設を知っていますか。当てはまるものを選んでください。	43～ 46
問17	どのようなことがあなたの環境保全への取組を後押ししますか。最も重要だと思うことを選んでください。	47
問18	地域の環境をより良くしていくために板橋区が今後重点的に取り組むべきだと思うことを選んでください。（重要度が高いと思うものを5つまで）	48～ 49
問19	地域の環境をより良くしていくために区民が今後重点的に取り組むべきだと思うことを選んでください。（重要度が高いと思うものを5つまで）	50
問20	板橋区の環境や区の今後の取組に望むことについて、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。【自由記述】	51～ 53

※ n(number of cases)は、その設問に対する回答者の総数を示しています。

質問によっては複数の回答を得たものがあります。

また、質問によっては、回答がなかった、もしくは、択一選択の質問に複数の回答があったため、総数について整合がとれていない部分があります。

1 アンケート概要

板橋区の環境について

2 調査目的

本区では平成28年3月に「板橋区環境基本計画2025」（以下、「現行計画」という。）を策定し、概ね10年後のあるべき環境の姿として、『人と緑を未来へつなぐスマートシティ“エコボリス板橋”』と設定し、その実現に向け取り組んできました。

現行計画の計画期間が令和7年度までであることから、現在、令和8年度からの新たな「板橋区環境基本計画2035」（以下、「次期計画」という。）の策定を進めています。

本調査は、次期計画の策定に向け、区民の皆様の環境に関する取組やご意見をお伺いし、今後の板橋区に必要な取組の検討資料とするために行うものです。

3 調査対象

（１）いたばし・タウンモニター 51名

（２）いたばし・eモニター 188名

4 調査方法

（１）いたばし・タウンモニター 郵送またはインターネット回答

（２）いたばし・eモニター インターネット回答

5 調査期間

令和6年9月3日（火）から令和6年9月17日（火）まで

6 アンケート作成部署

環境政策課

7 回答結果（回答率）

	回答数	回答率
タウンモニター	32人	62.7%
eモニター	91人	48.4%
計	123人	51.5%

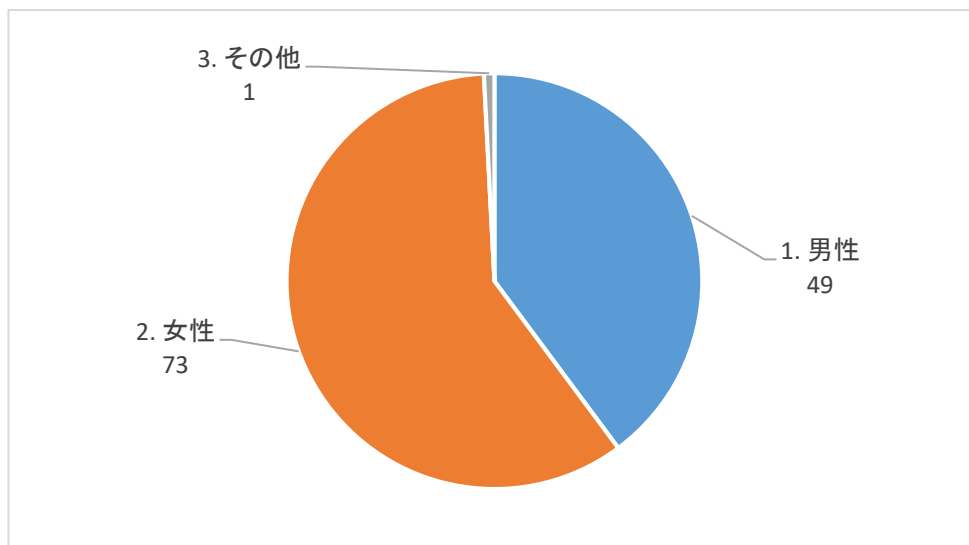
8 その他

紙面の関係上、同様の内容のものについては要約・省略をしているものがあります。
また、ご意見・ご要望等で、アンケートに関連のない内容等については、割愛いたしました。

回答の比率（％）は、小数点第二位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100％にならない場合があります。

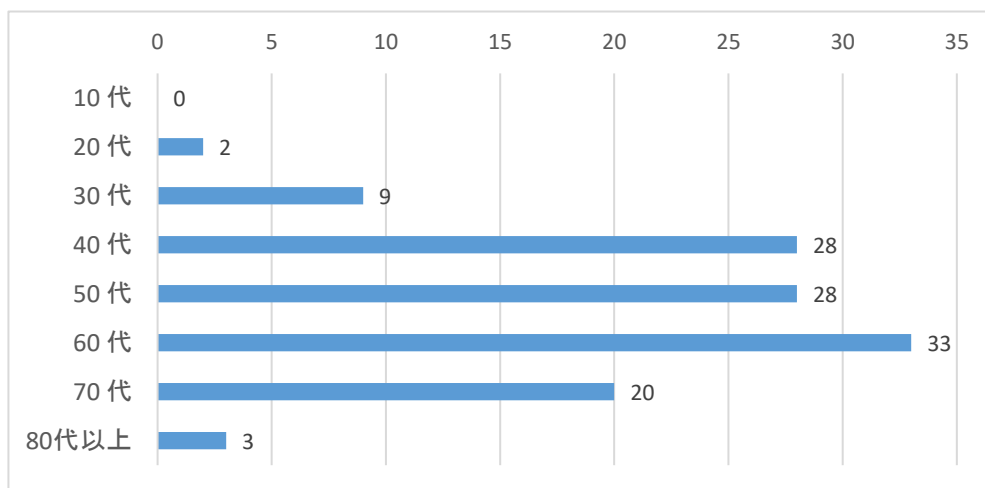
基本情報

問1 あなたの性別を教えてください。



n=123

問2 あなたの年齢を教えてください。



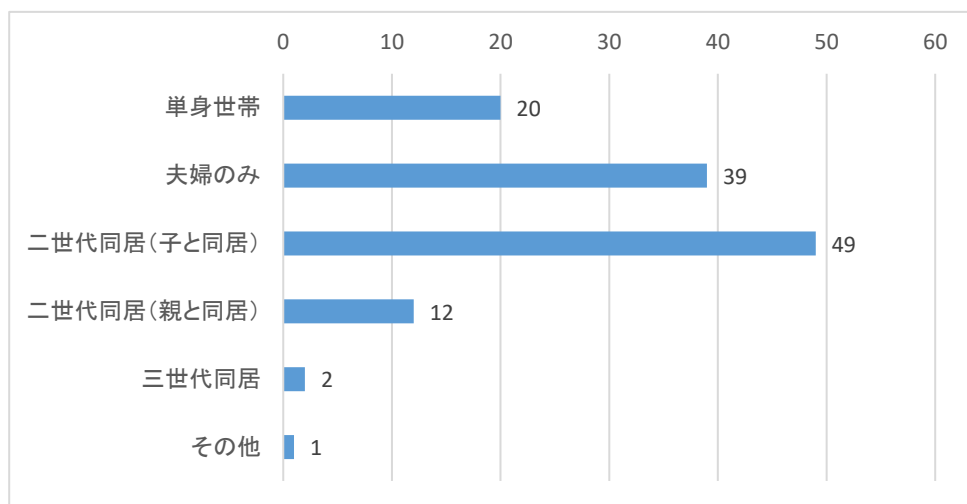
n=123

問3 あなたのお住まいの地域（町丁目まで）を教えてください。

赤塚一丁目	1	加賀二丁目	2	東新町一丁目	1	富士見町	1
赤塚三丁目	1	上板橋一丁目	1	常盤台一丁目	4	双葉町	1
赤塚四丁目	2	上板橋二丁目	1	常盤台二丁目	1	舟渡一丁目	1
赤塚五丁目	3	小茂根一丁目	1	徳丸二丁目	1	本町	3
赤塚六丁目	3	幸町	2	徳丸三丁目	1	前野町(丁目記載なし)	1
赤塚新町二丁目	1	栄町	2	徳丸六丁目	1	前野町一丁目	3
赤塚新町三丁目	3	坂下二丁目	1	仲宿	4	前野町二丁目	1
小豆沢一丁目	1	坂下三丁目	1	中台一丁目	1	前野町三丁目	1
小豆沢二丁目	1	桜川二丁目	1	中台三丁目	3	前野町六丁目	2
板橋二丁目	1	志村(丁目記載なし)	1	中丸町	2	三園一丁目	2
稲荷台	1	志村一丁目	3	成増一丁目	1	南町	1
大原町	2	新河岸三丁目	1	成増三丁目	1	南常盤台二丁目	1
大谷口一丁目	1	高島平一丁目	2	成増四丁目	2	向原一丁目	2
大谷口上町	1	高島平二丁目	2	西台二丁目	1	向原二丁目	2
大山金井町	1	高島平三丁目	3	西台三丁目	1	弥生町	1
大山町	3	高島平五丁目	1	西台四丁目	1	若木(丁目記載なし)	1
大山西町	3	高島平七丁目	1	蓮沼町	3	一丁目(町名記載なし)	1
大山東町	2	高島平八丁目	2	蓮根二丁目	4	区外	1
加賀一丁目	1	高島平九丁目	2	蓮根三丁目	2		

n=123

問4 あなたの家の世帯構成を教えてください。

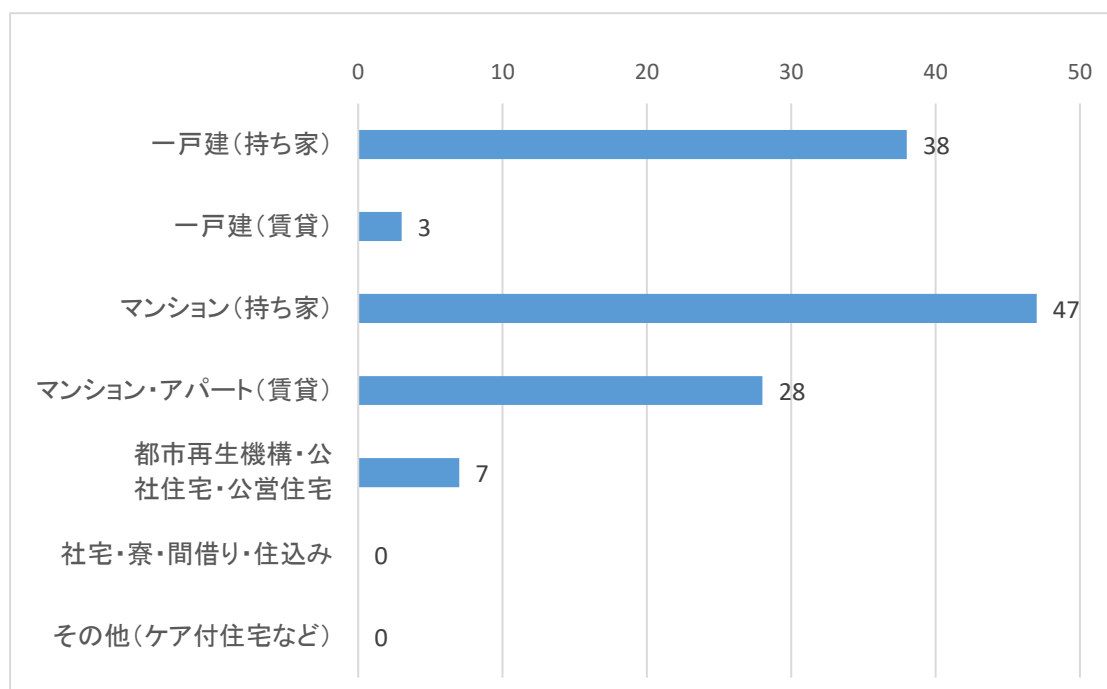


n=123

《その他の回答》

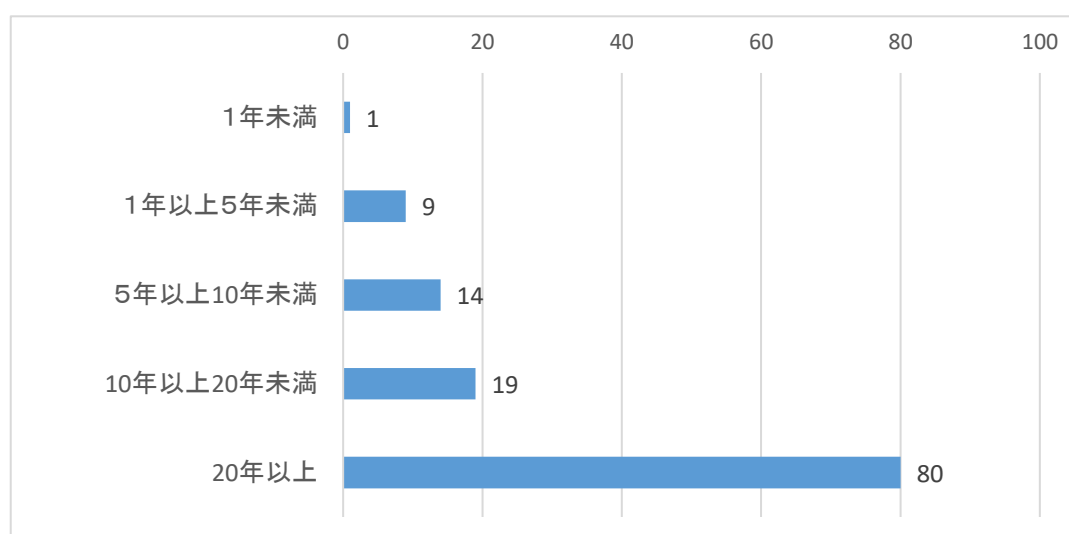
- ・ルームシェア

問5 あなたがお住まいの家の住居形態を教えてください。



n=123

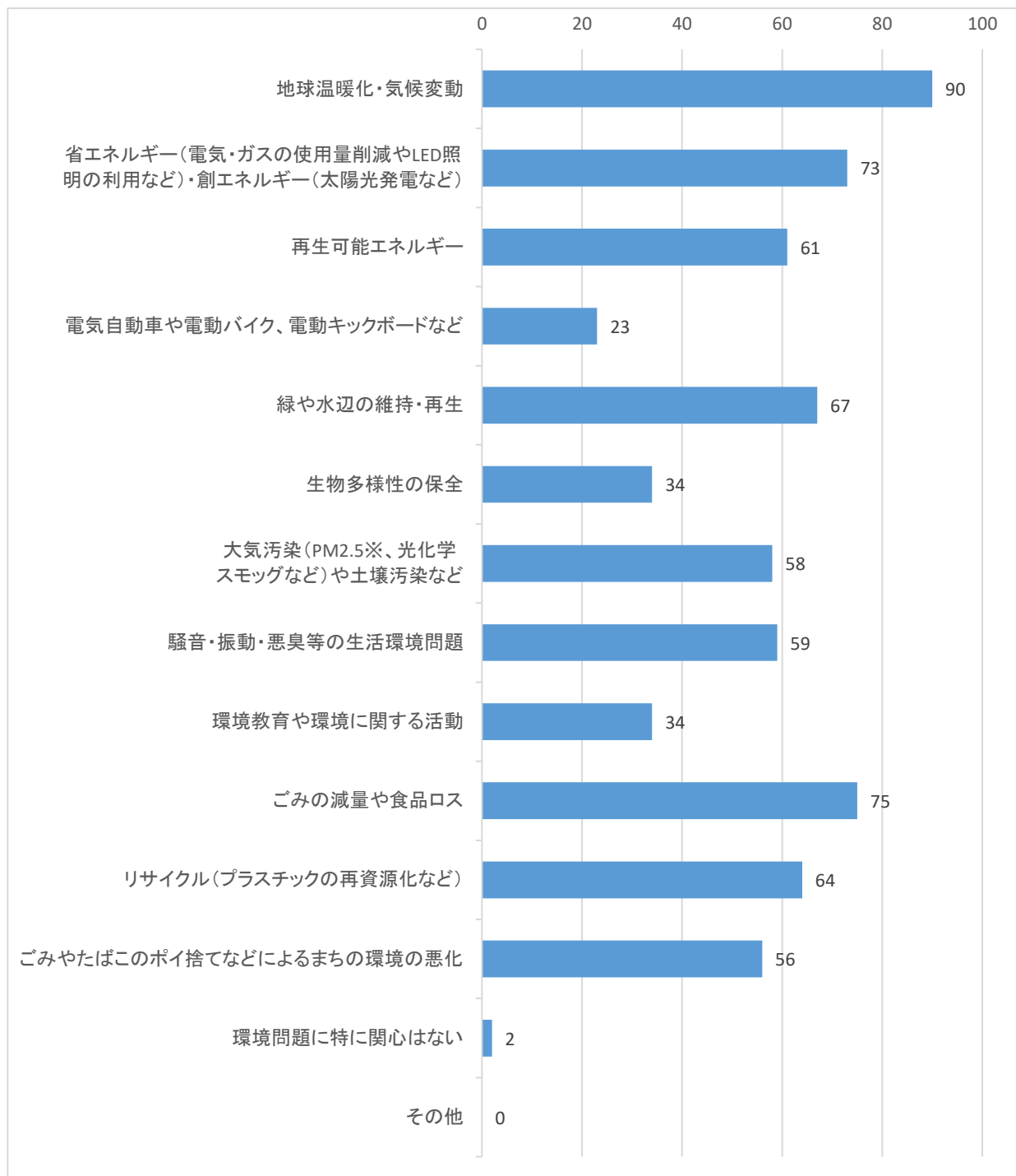
問6 区内にお住まいの年数を教えてください。



n=123

板橋区の環境について

問7 あなたが関心を持っている環境問題について、当てはまるものを選んでください。（複数回答可）



n=123

「地球温暖化・気候変動」と回答した人が90人（73.2%）で最も多かった。

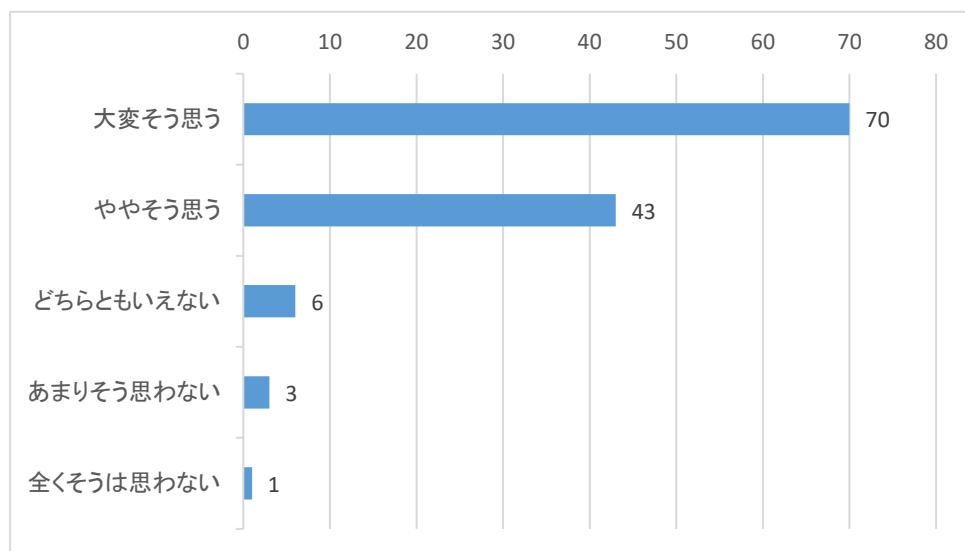
※PM2.5：大気中に浮遊している粒子状物質のうち、粒径 $2.5\mu\text{m}$ （マイクロメートル、 $\mu\text{m}=100$ 万分の 1m ）以下の小さなもの。健康への影響が懸念されている。

《その他の回答》

- ・公園や公衆トイレでの水の出し放し。特に公園の水飲場での児童の水の出し放しや水遊びが心配です。
- ・スペースデブリ
- ・マイクロプラスチックによる海の汚染

問8 環境問題に対する次の意見や考えについて、あなたの意見や考えに最も近いものを選んでください。
※①～③について、それぞれ一つだけ選択してください。

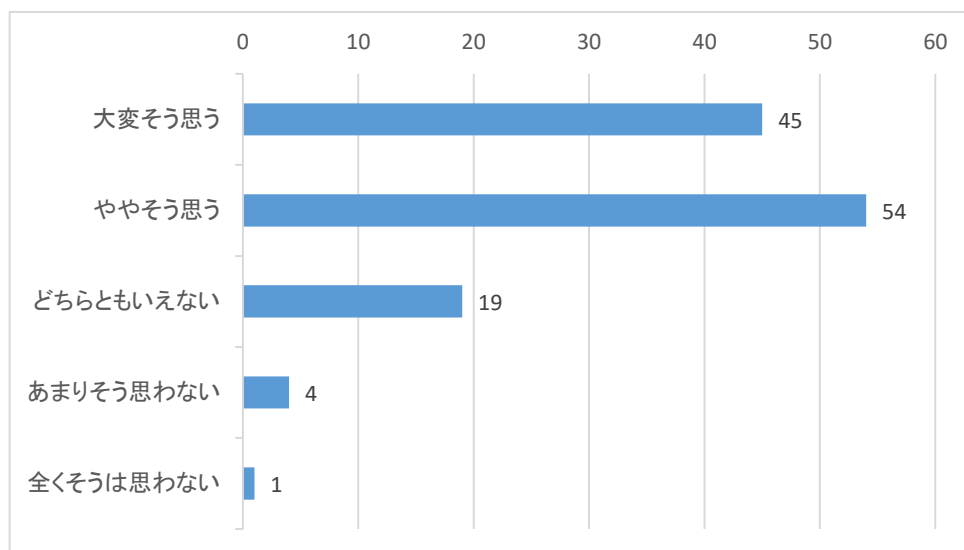
① 日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼしている。



n=123

「大変そう思う」と回答した人が70人（56.9%）で最も多かった。

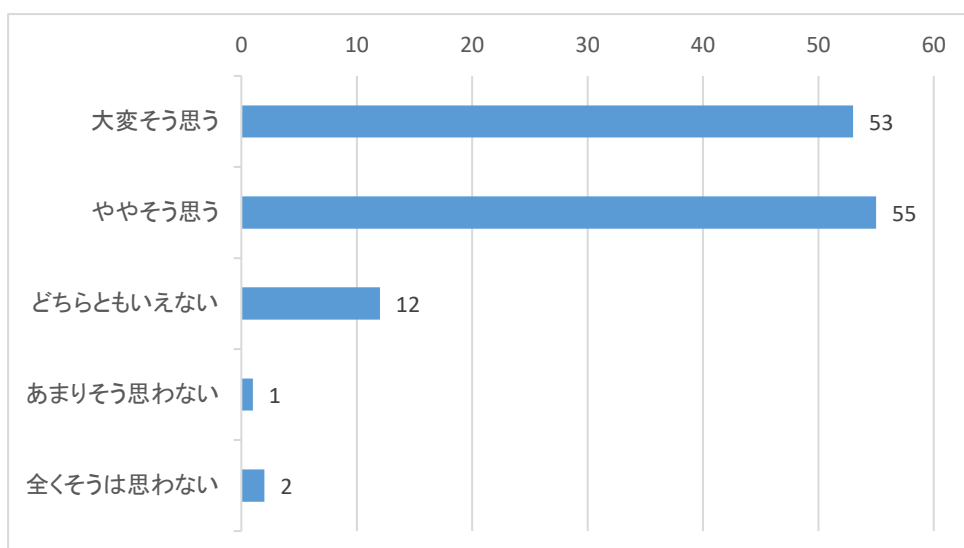
② 環境保全の取組を進めることは、地域経済の発展につながる。



n=123

「ややそう思う」と回答した人が54人（43.9%）で最も多かった。

③ 地域の人たちが協力して、その地域の環境保全活動に取り組むことは地域コミュニティの活性化にもつながるので重要である。

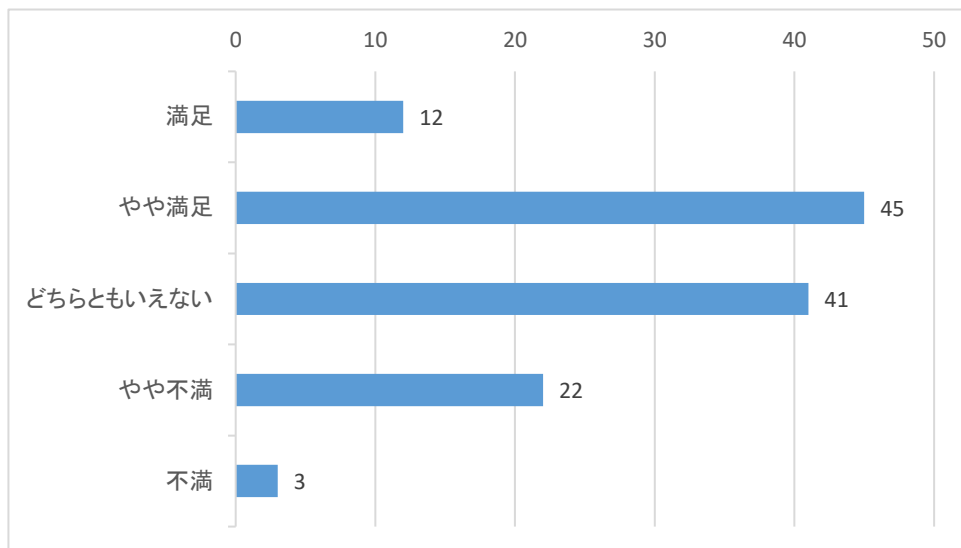


n=123

「ややそう思う」と回答した人が55人（44.7%）で最も多かった。

問9 あなたは、身の回りの環境について、どのように感じていますか。
当てはまるものを選んでください。
※①～⑪について、それぞれ一つだけ選択してください。

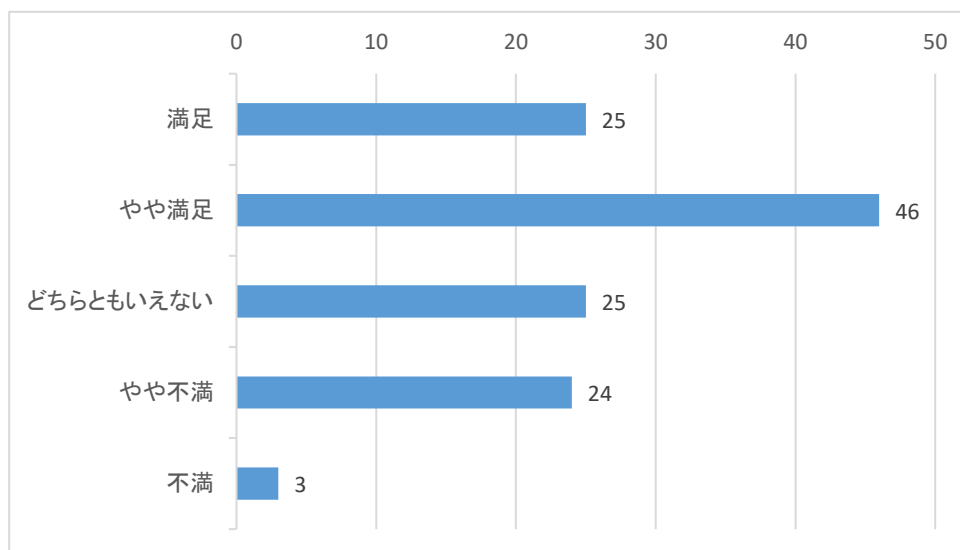
① 空気のきれいさ



n=123

「やや満足」と回答した人が45人（36.6%）で最も多かった。

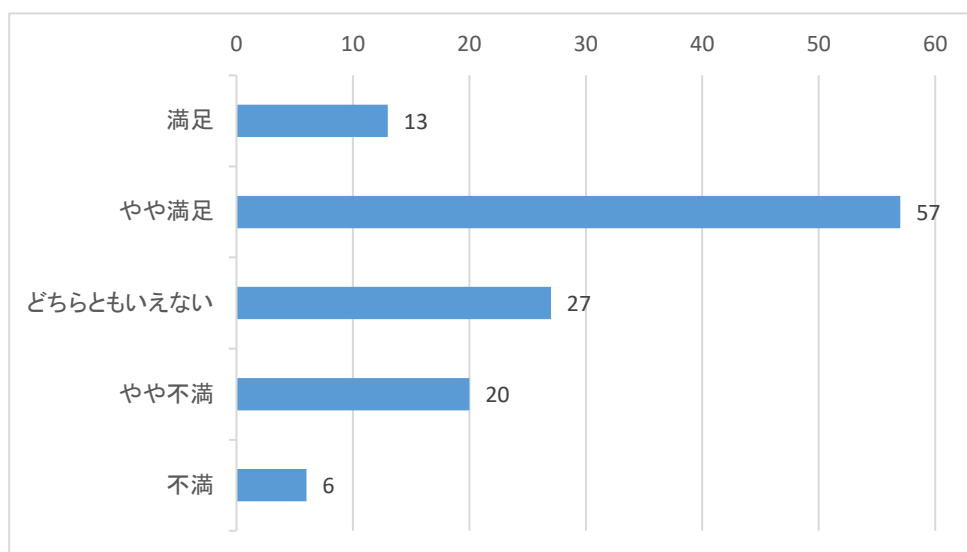
② まちの静けさ



n=123

「やや満足」と回答した人が46人（37.4%）で最も多かった。

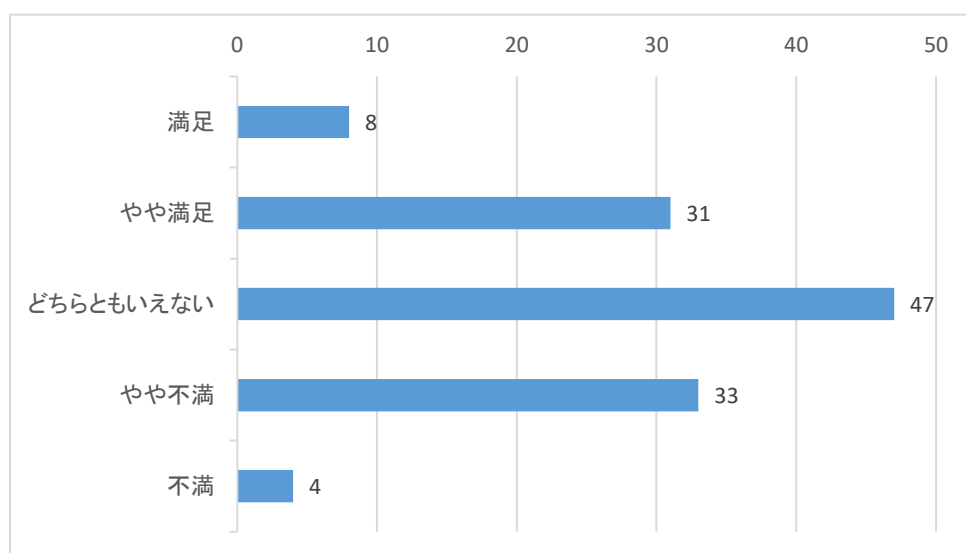
③ まちの清潔さ・きれいさ



n=123

「やや満足」と回答した人が57人（46.3%）で最も多かった。

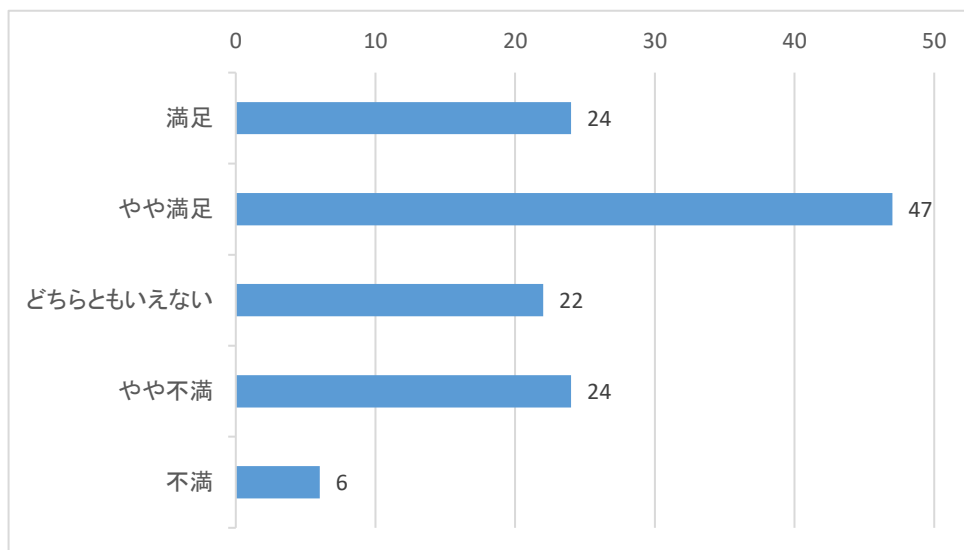
④ 水のきれいさ（河川など）



n=123

「どちらともいえない」と回答した人が47人（38.2%）で最も多かった。

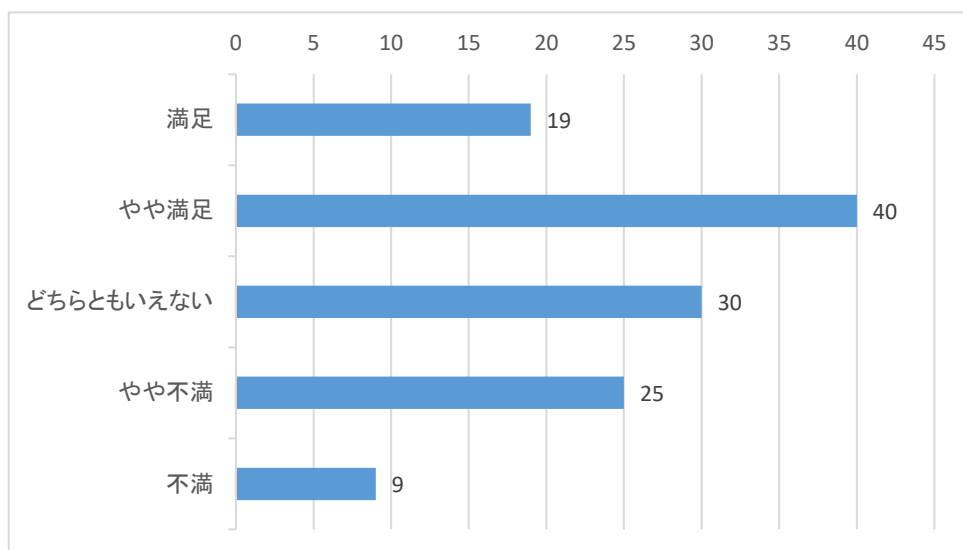
⑤ 緑の豊かさ



n=123

「やや満足」と回答した人が47人（38.2%）で最も多かった。

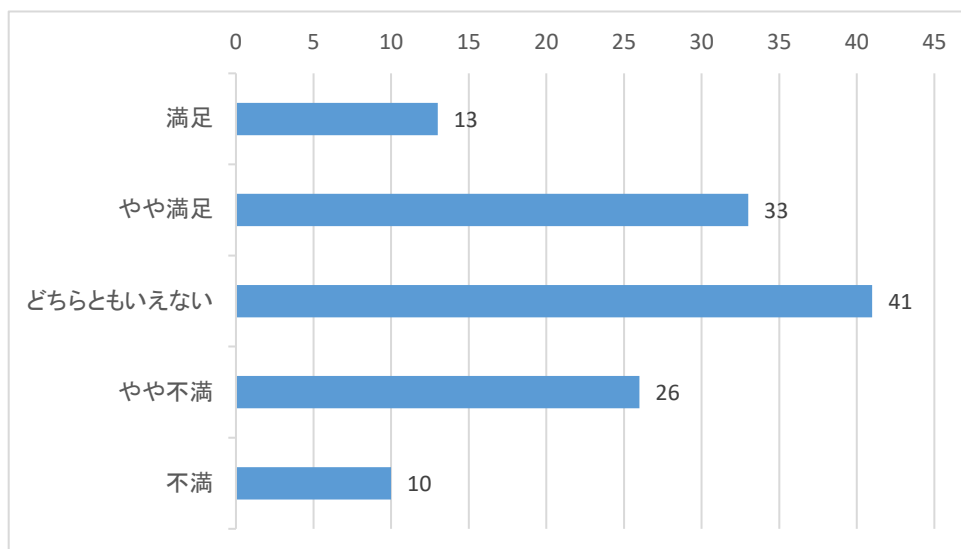
⑥ 緑や水辺との親しみやすさ（公園や緑地など）



n=123

「やや満足」と回答した人が40人（32.5%）で最も多かった。

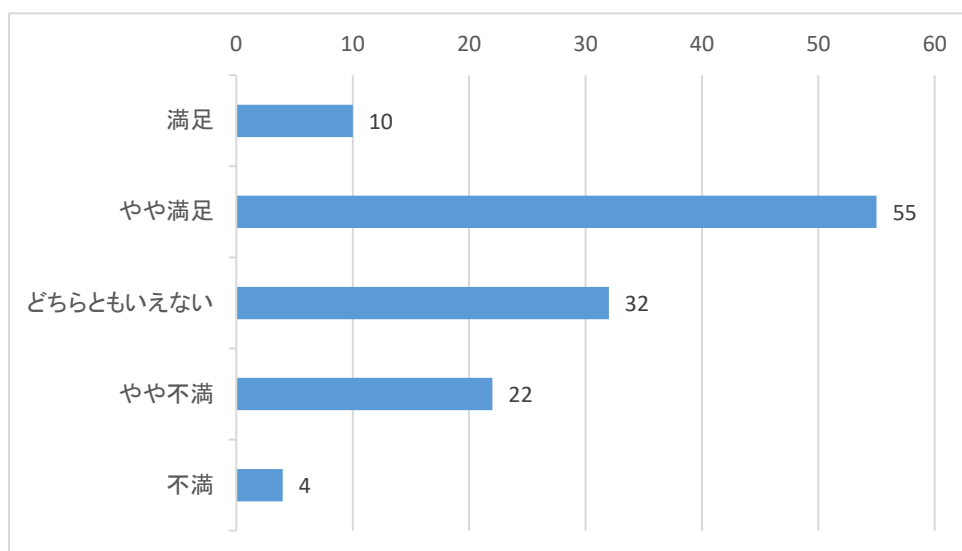
⑦ 生きもの（野鳥や昆虫など）との親しみやすさ



n=123

「どちらともいえない」と回答した人が41人（33.3%）で最も多かった。

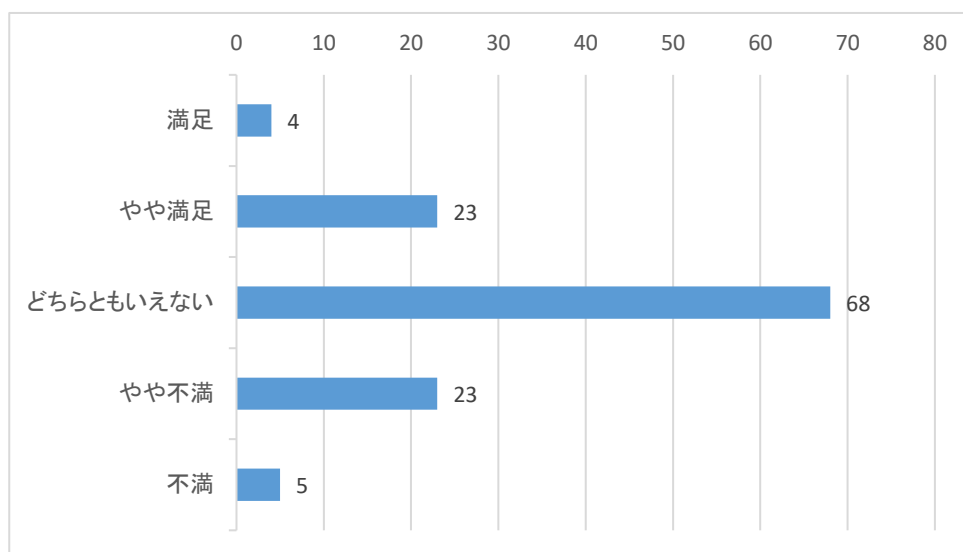
⑧ まちの安全（水害や災害からの安全）



n=123

「やや満足」と回答した人が55人（44.7%）で最も多かった。

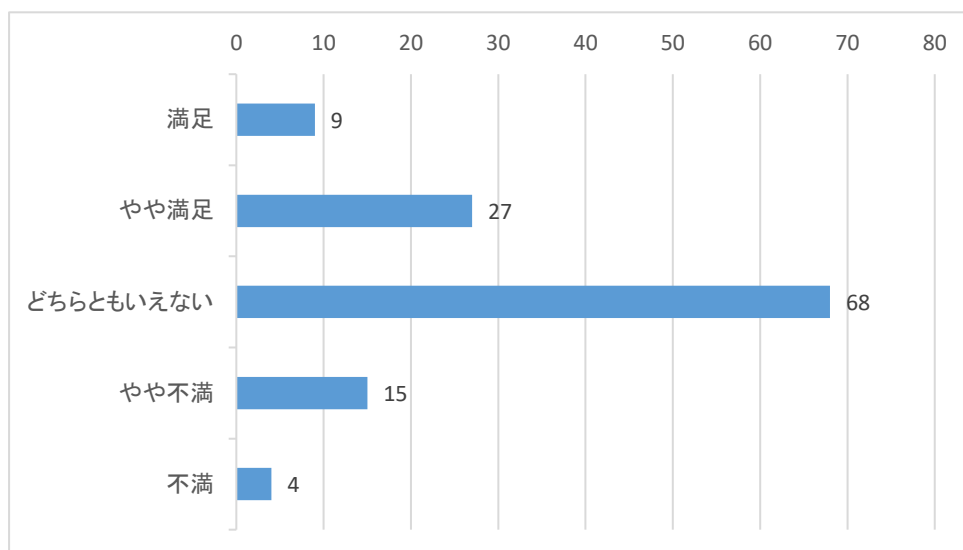
⑨ まちにおける積極的な環境に関する活動



n=123

「どちらともいえない」と回答した人が68人（55.3%）で最も多かった。

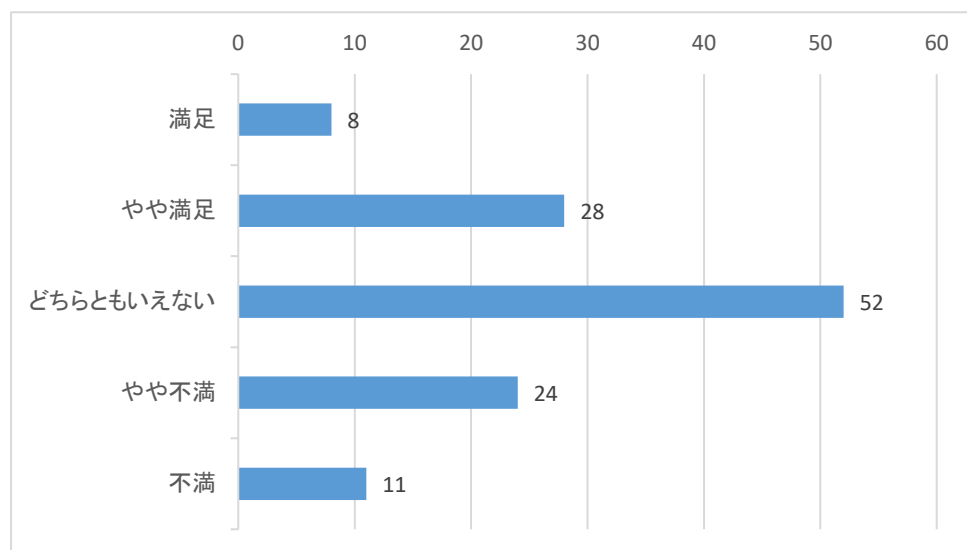
⑩ 有害化学物質からの安全性（アスベスト等）



n=123

「どちらともいえない」と回答した人が68人（55.3%）で最も多かった。

⑪ 区からの環境に関する状況や施策の情報提供

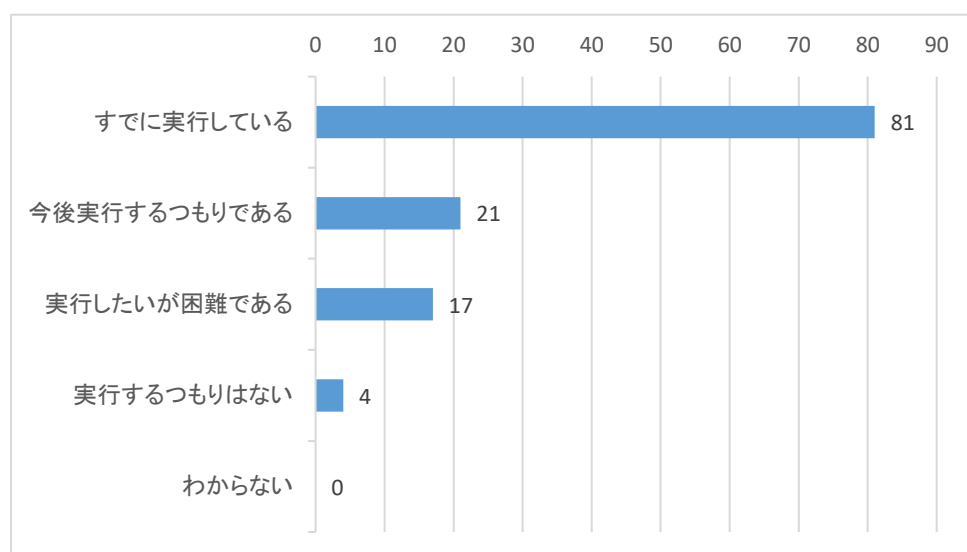


n=123

「どちらともいえない」と回答した人が52人（42.3%）で最も多かった。

問10-1 地球温暖化の防止に関するあなたの取組の状況について、当てはまるものを選んでください。
※①～⑮について、それぞれ一つだけ選択してください。

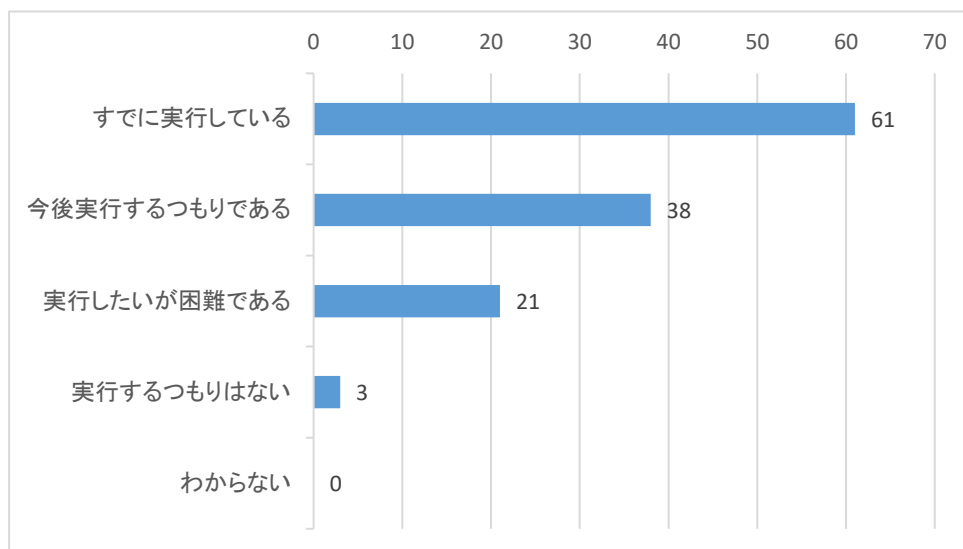
① 省エネルギーに取り組む（電気やガスの使用量削減）



n=123

「すでに実行している」と回答した人が81人（65.9%）で最も多かった。

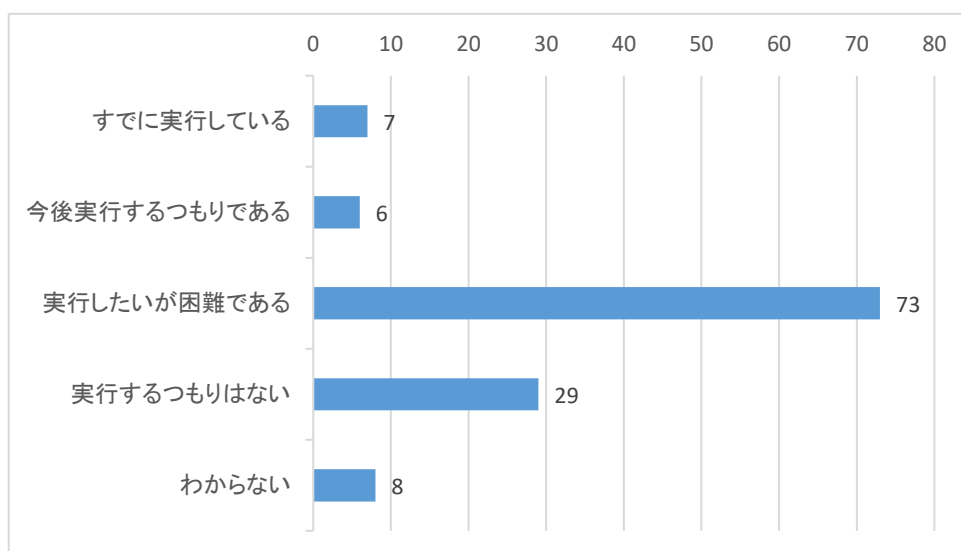
② 家電などのエネルギー機器は、省エネルギー性能の高いものを使用する



n=123

「すでに実行している」と回答した人が61人（49.6%）で最も多かった。

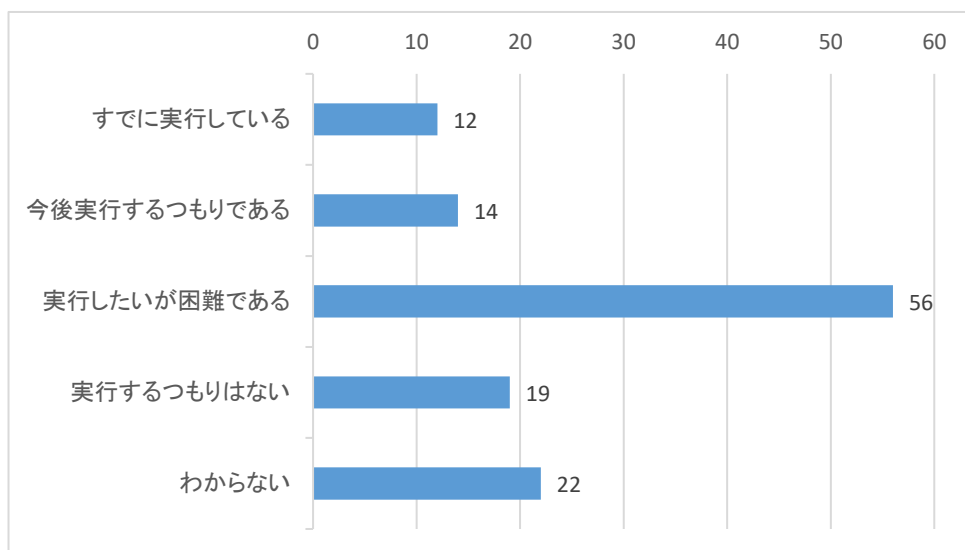
③ 太陽光発電などの再生可能エネルギー設備を導入する



n=123

「実行したいが困難である」と回答した人が73人（59.3%）で最も多かった。

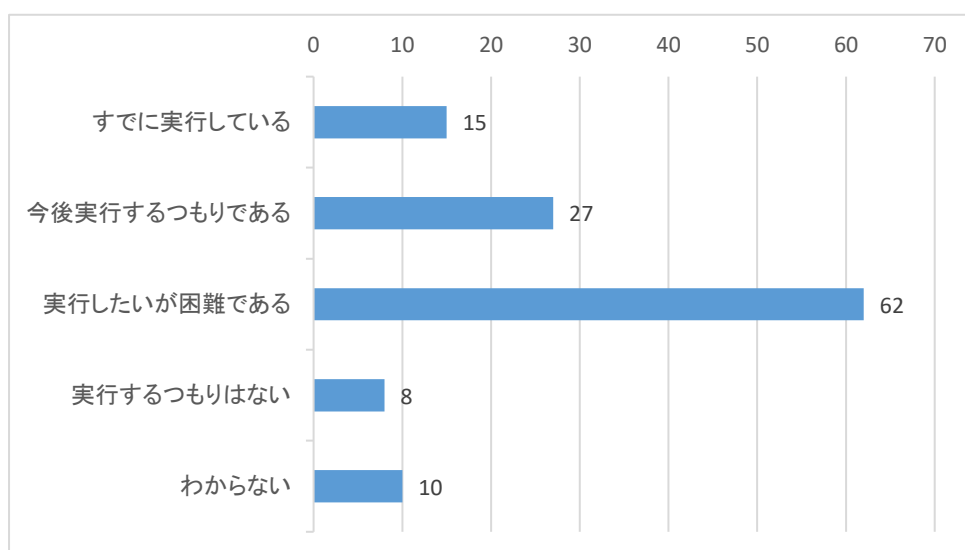
④ 再生可能エネルギーを活用した電力（再エネ電気プラン）に切り替える



n=123

「実行したいが困難である」と回答した人が56人（45.5%）で最も多かった。

⑤ 住宅の建て替えや住み替えの際は、エネルギー効率の良い建物（例：断熱性の高い建物、省エネ住宅など）を選ぶ

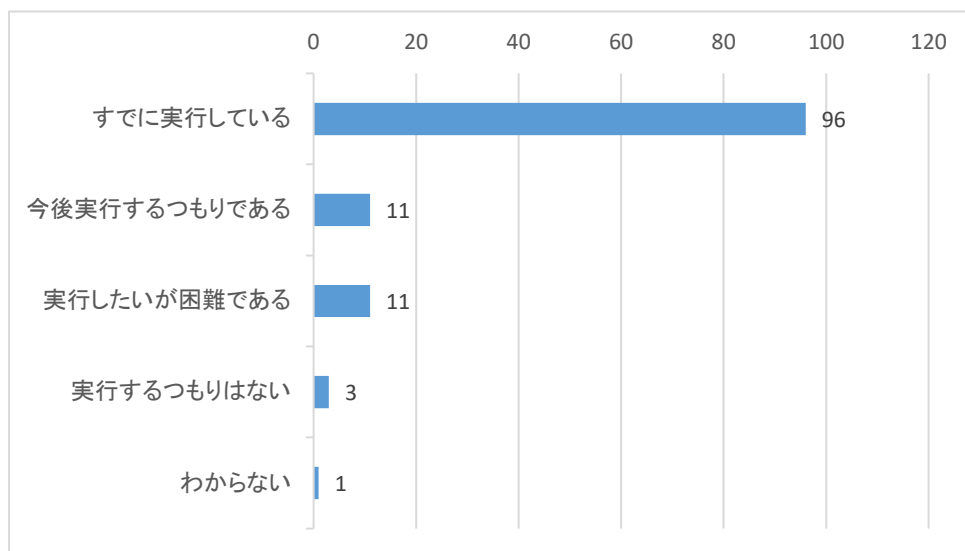


n=122

未回答=1

「実行したいが困難である」と回答した人が62人（50.8%）で最も多かった。

⑥ 車をできるだけ使わず、徒歩、自転車、公共交通機関（バス・電車）を利用する

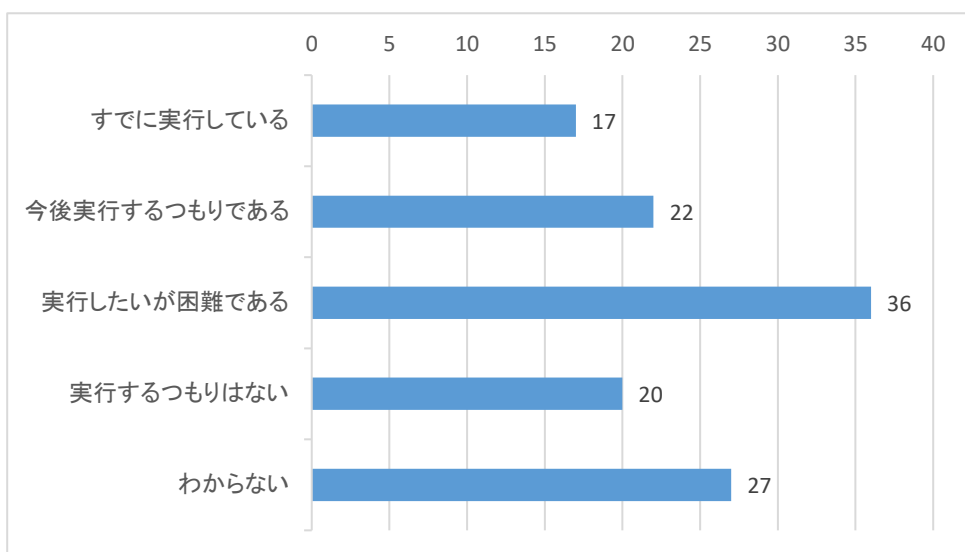


n=122

未回答=1

「すでに実行している」と回答した人が96人（78.7%）で最も多かった。

⑦ 車を購入する際には、ハイブリッド車や電気自動車、水素自動車などの環境にやさしい車を積極的に選ぶ

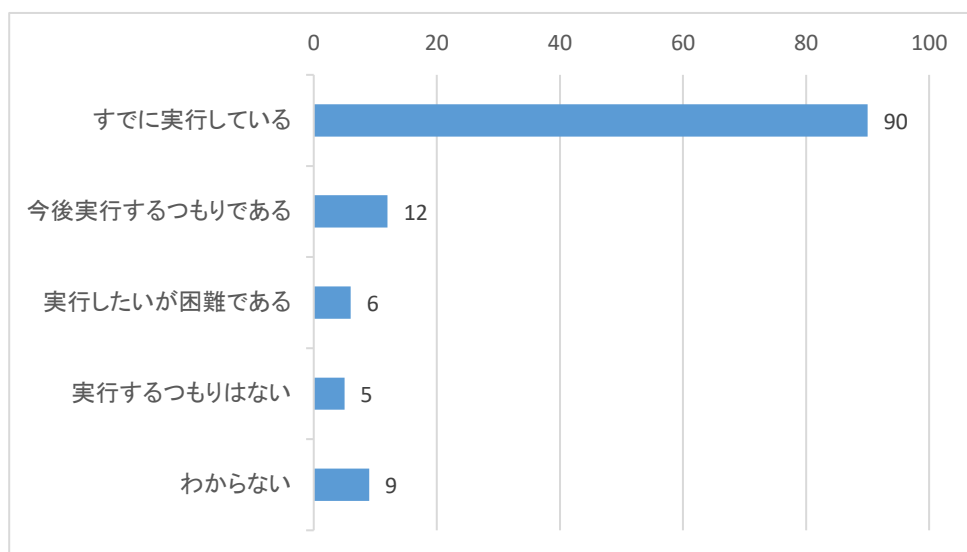


n=122

未回答=1

「実行したいが困難である」と回答した人が36人（29.5%）で最も多かった。

⑧ クールビズやウォームビズに取り組む

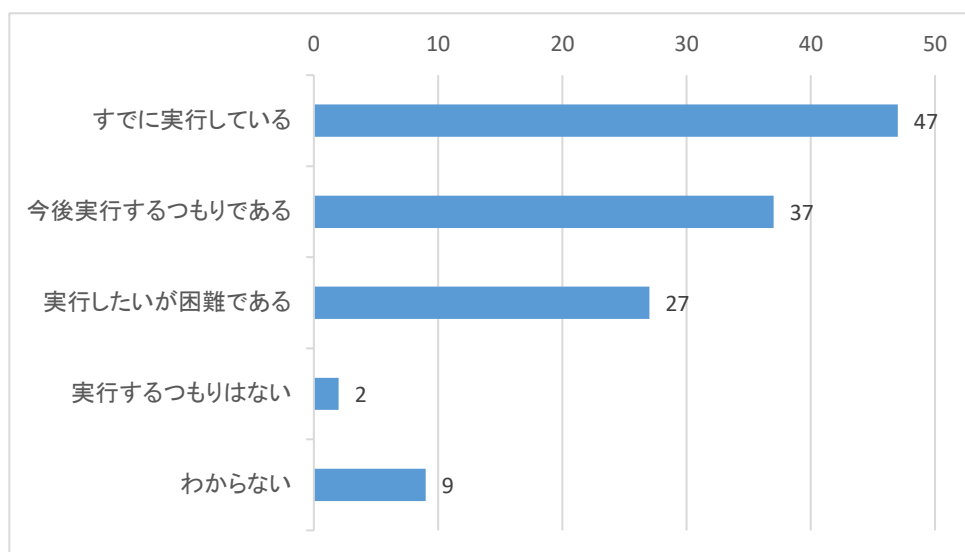


n=122

未回答=1

「すでに実行している」と回答した人が90人（73.8%）で最も多かった。

⑨ 緑のカーテンや地産地消（なるべく近くで生産された食品等を選ぶ）など、手軽にできる取組を行う

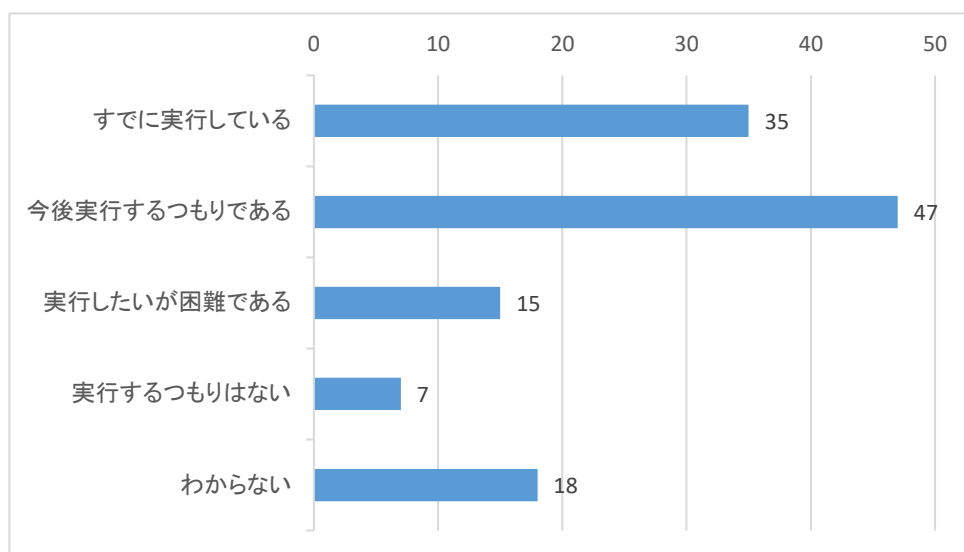


n=122

未回答=1

「すでに実行している」と回答した人が47人（38.5%）で最も多かった。

⑩ 環境に配慮した製品（例：エコマークがついている商品）を積極的に選ぶ

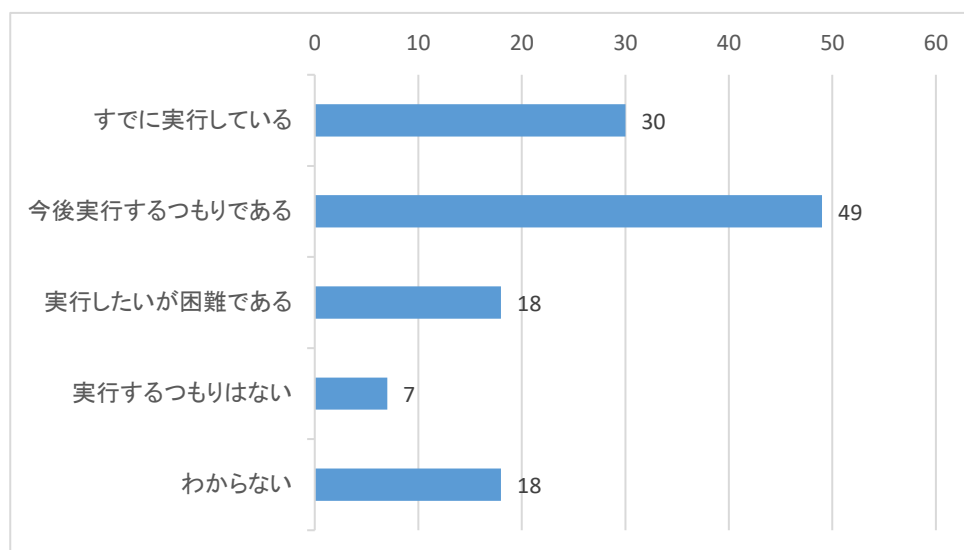


n=122

未回答=1

「今後実行するつもりである」と回答した人が47人（38.5%）で最も多かった。

⑪ 環境に配慮した取組を行っている企業の製品やサービスを積極的に選ぶ

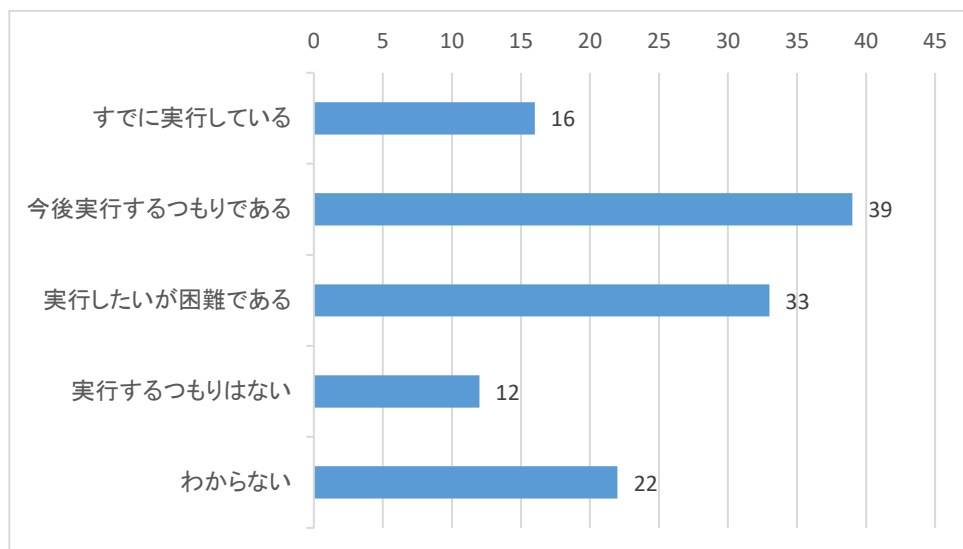


n=122

未回答=1

「今後実行するつもりである」と回答した人が49人（40.2%）で最も多かった。

⑫ 身の回りの物に木材製品を選ぶことで、よりCO₂を吸収する国内の森林環境整備が実現することに寄与する

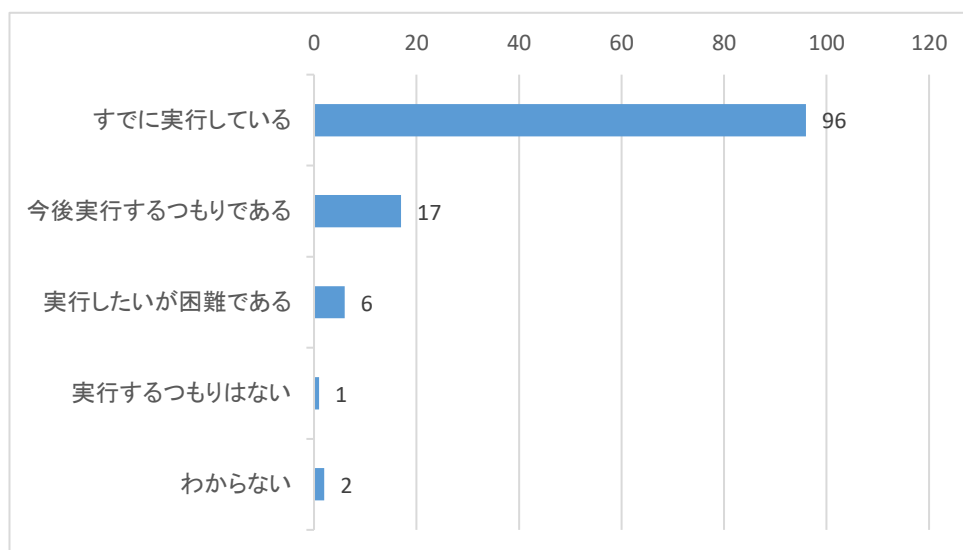


n=122

未回答=1

「今後実行するつもりである」と回答した人が39人（32.0%）で最も多かった。

⑬ 熱中症対策に取り組む

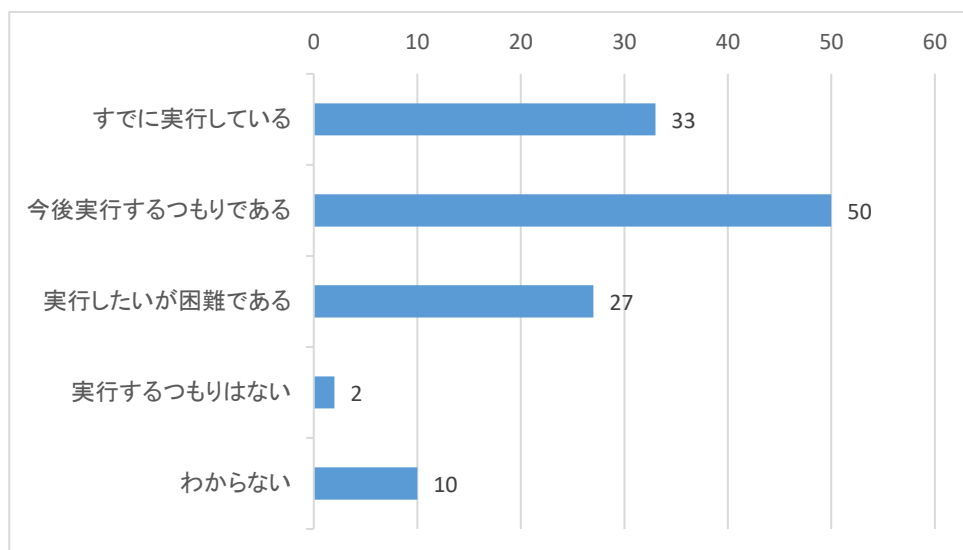


n=122

未回答=1

「すでに実行している」と回答した人が96人（78.7%）で最も多かった。

⑭ 気候変動による風水害の増加に備える

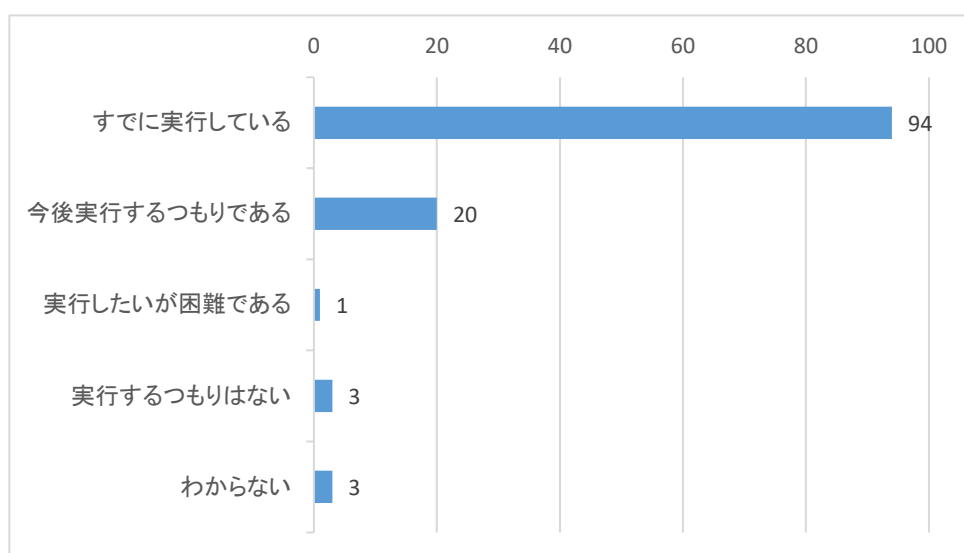


n=122

未回答=1

「今後実行するつもりである」と回答した人が50人（41.0%）で最も多かった。

⑮ 地球温暖化について、新聞やテレビ、インターネット等をとおして情報を得る



n=121

未回答=2

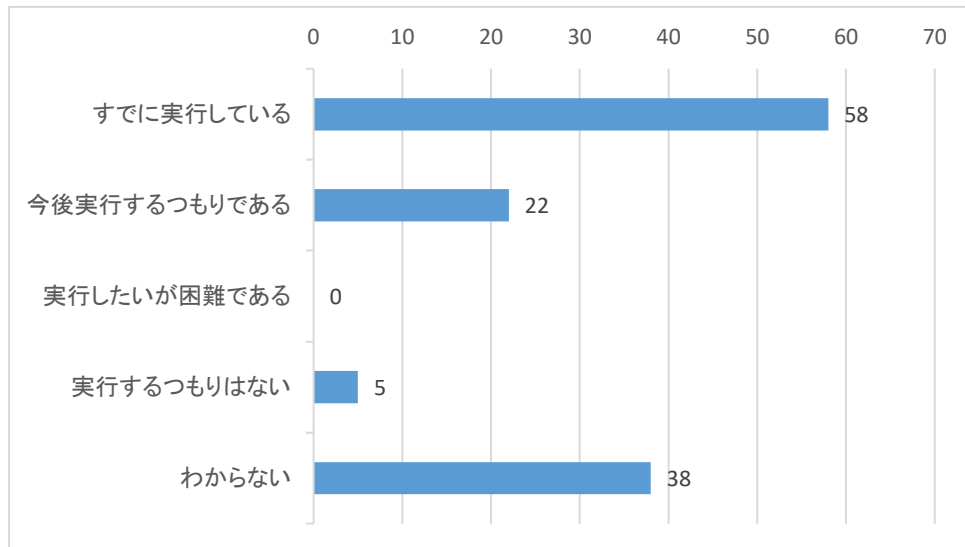
「すでに実行している」と回答した人が94人（77.7%）で最も多かった。

問10-2 問10-1で「実行したいが困難である」または「実行するつもりはない」を1つでも選んだ方に伺います。これらを選んだ理由を教えてください。【自由記述】

・ 経済的な問題で厳しい。
・ 高齢のため。
・ 取り組みたいと考えるが、その環境にない。（マンションや賃貸のためできない等）
・ 実行しても効果が薄い気がしている。
・ 取り組む方法がわからない。
・ 現在でもできる限り実行しているので、これ以上行うのはかなり難しい。
・ 先送りにしがち。
・ ということなのか、具体的なイメージが湧かないから。（例えば、「環境に配慮した取組を行っている企業の製品やサービスを積極的に選ぶ」であれば、どのような取組を行ってどのような効果が出ているのか？本当にやっているのか？などがよく分からない。）
・ 性能や機能で選ぶため、必ずしも木製品や環境配慮製品が選ばれるわけではない。
・ 地球規模なので、体裁のよい回答は、無意味だと思います。
・ 再エネ推進は国力低下に繋がる行為なので反対です。太陽光パネル、電気自動車などは日本製のものに限るなどの対策をして欲しいです。
・ 太陽光発電に疑問があるため（ソーラーパネルと環境）（③）
・ 太陽光発電を導入するメリットがない。（③）
・ 住宅の建て替えや住み替えの予定は無いため。（⑤）
・ 建物の建て替え及び、改修工事は費用対効果が疑問でもある。今あるものを末永く使用することこそが地球環境には良いと思う。（⑤）
・ 運転免許証を返納している。（⑦）
・ 自動車を所有しておらず、購入予定も無いため（⑦）
・ 電気自動車（EV）電池の危険性（⑦）
・ ⑨～⑪などは比べる対象があるとは限らないから。
・ エコマークを気にしたことはない。（⑩）
・ 取り組みをしてる企業等がよく分からない。（⑪）
・ 新たに木材製品を購入するつもりはない。（⑫）
・ 風水害に対する備えは、個人というより、行政が取り組むべき問題だと思う。（⑭）

問11-1 ごみの発生抑制と資源の循環利用に関するあなたの取組の状況について、当てはまるものを選んでください。
 ※①～⑧について、それぞれ一つだけ選択してください。

① 「板橋かたつむり運動※」に関心を持ち、積極的に実践する

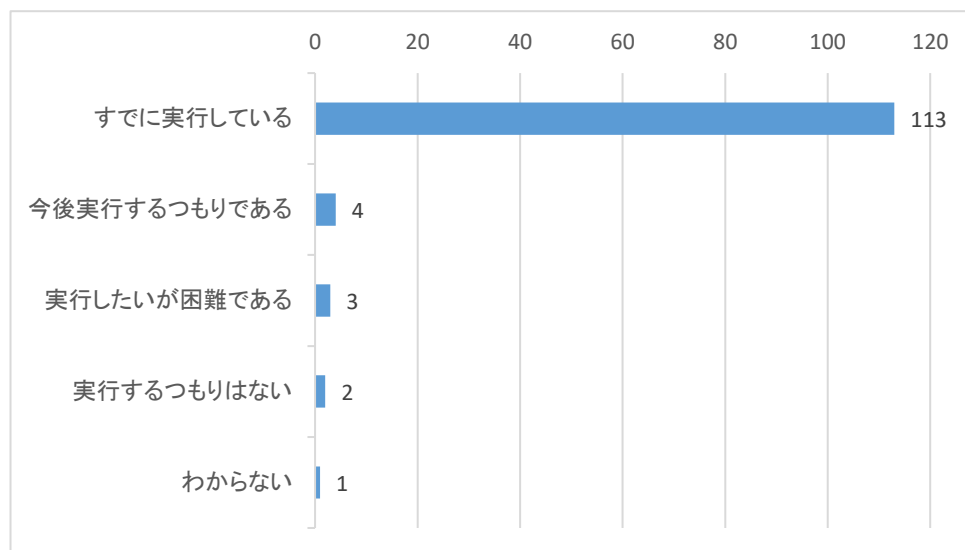


n=123

「すでに実行している」と回答した人が58人（47.2%）で最も多かった。

※板橋かたつむり運動：板橋区が展開する、ごみ減量・リサイクルの区民運動。「か」は「かたづけじょうず」、「た」は「たいせつにつかう」、「つ」は「つかいきる」、「む」は「むだにしない」、「り」は「りさいくる」を意味する。

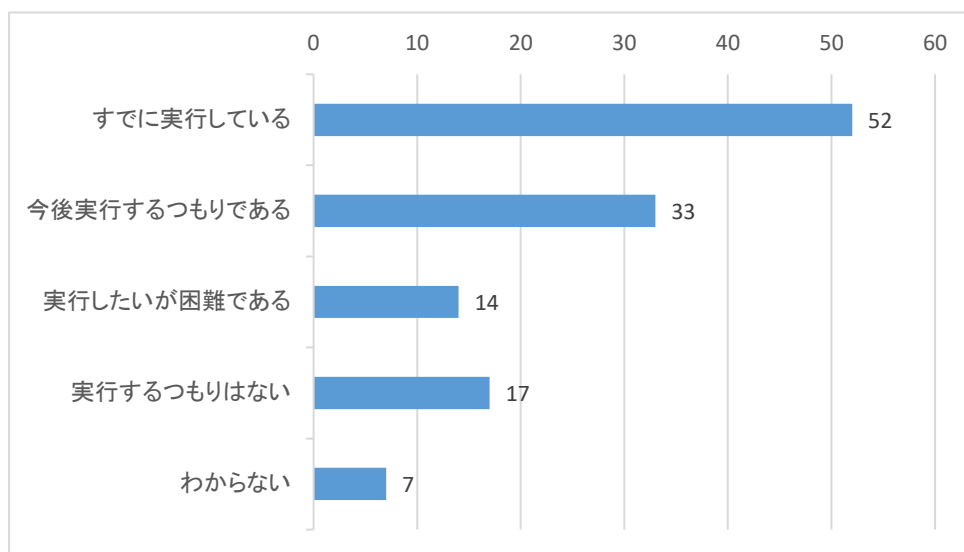
② マイバッグやマイ箸を利用する



n=123

「すでに実行している」と回答した人が113人（91.9%）で最も多かった。

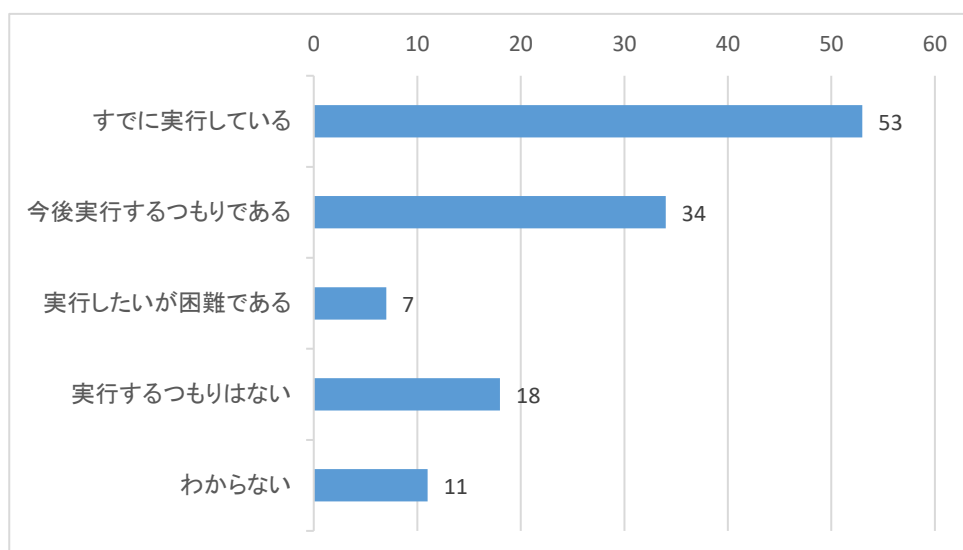
③ 不用品は、フリマアプリやフリーマーケットを利用するなどして再利用につなげる



n=123

「すでに実行している」と回答した人が52人（42.3%）で最も多かった。

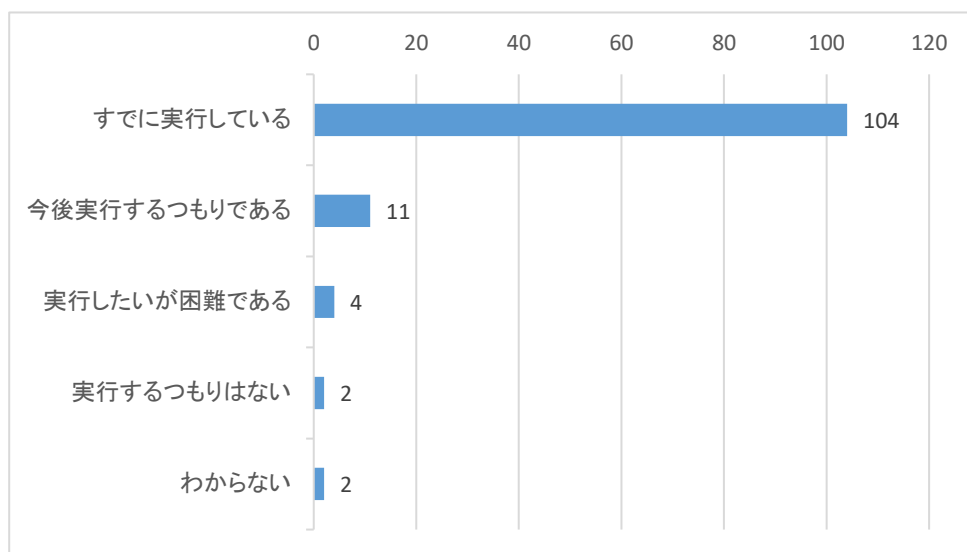
④ 中古品で良いものは積極的に中古品を選択し購入する



n=123

「すでに実行している」と回答した人が53人（43.1%）で最も多かった。

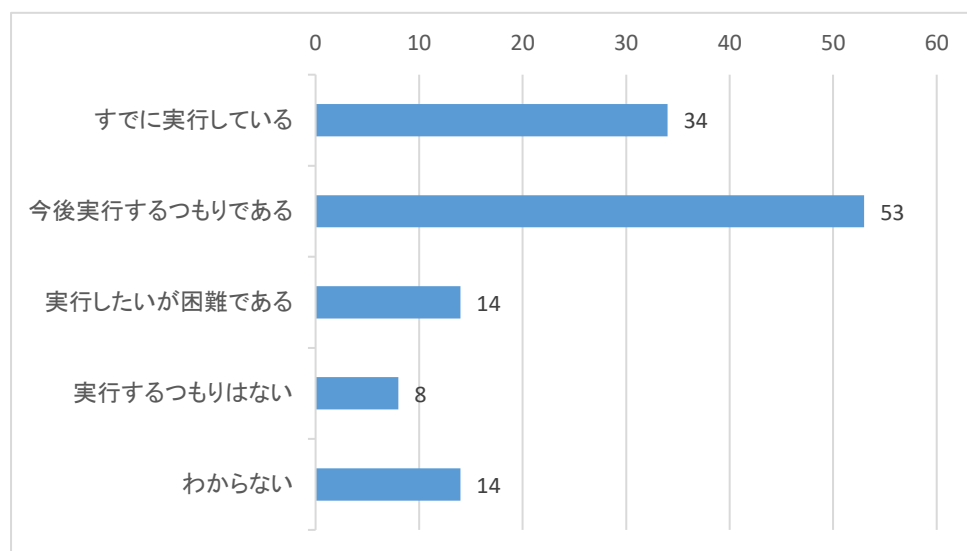
⑤ 食品ロスを発生させないよう買い物や食材の管理に気を付ける



n=123

「すでに実行している」と回答した人が104人（84.6%）で最も多かった。

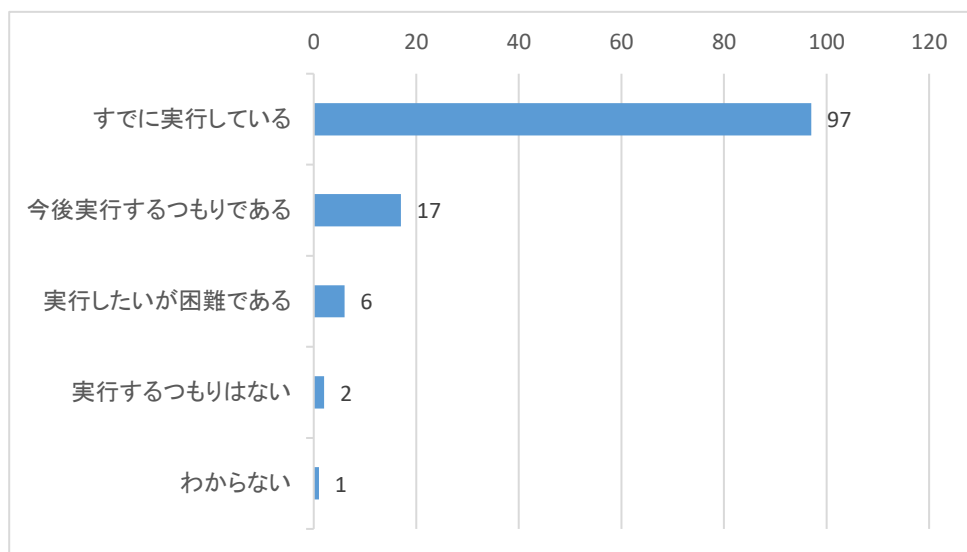
⑥ 廃油の回収、フードバンクへの寄付などごみ減量に効果のある取組に協力する



n=123

「今後実行するつもりである」と回答した人が53人（43.1%）で最も多かった。

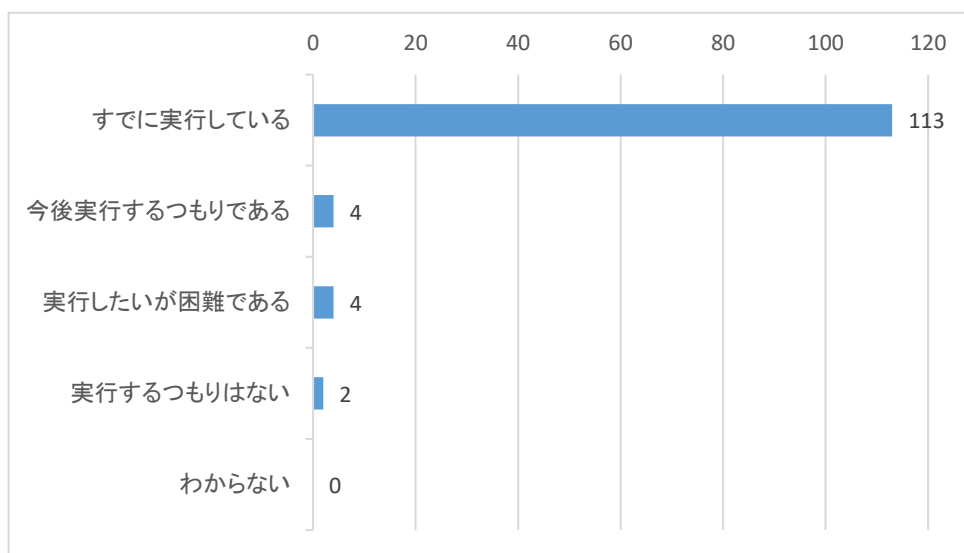
⑦ 使い捨てをしない、必要以上のものを買わないなどして、ごみ自体をなるべく出さないようにする



n=123

「すでに実行している」と回答した人が97人（78.9%）で最も多かった。

⑧ 資源化できるものは分別し、資源回収に協力する



n=123

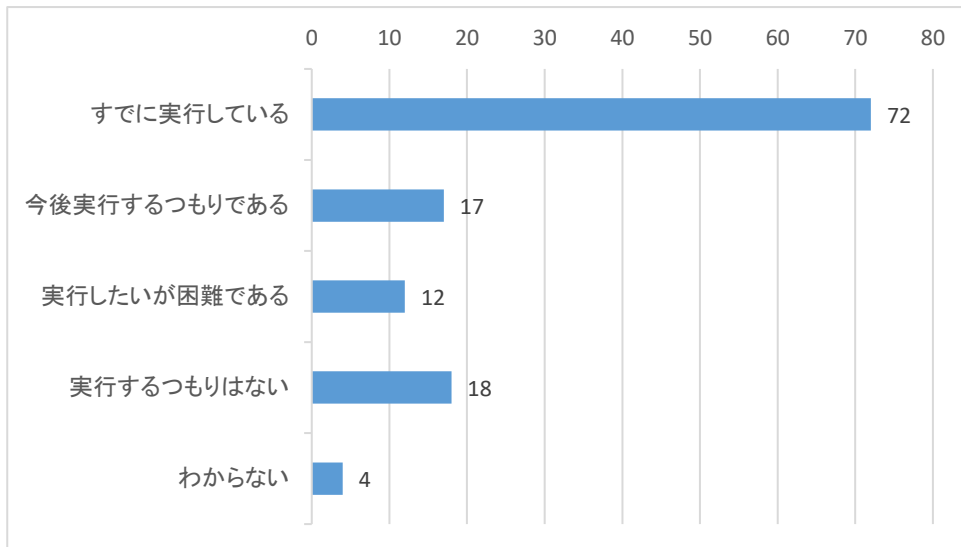
「すでに実行している」と回答した人が113人（91.9%）で最も多かった。

問11-2 問11-1で「実行したいが困難である」または「実行するつもりはない」を1つでも選んだ方に伺います。これらを選んだ理由を教えてください。【自由記述】

・フリーマーケットでの売買、フードバンクへの寄付をする時間がない。
・年齢（高齢）や身体的事由により、外出が困難である。
・業務多忙過ぎと感染対策等衛生上の理由からやむを得ず。
・手間がかかる。
・取り組む方法がわからない。
・かたつむり運動という言葉は初めて知ったため。（①）
・ウイルス繁殖や衛生上の観点を優先しているため。（②）
・無駄な物は買っていない。よってフリマへの出品などしていません。（③）
・フリマアプリなどは、購入者とのトラブルが怖いので、使用予定は無い。（③）
・フリマアプリ、フリーマーケットなどの利用は高齢者には正直面倒に感じる。（③）
・中古品をあえて選択する理由が見当たらない。（④）
・以前の使用者がわからない中古品に対する抵抗感がある。（④）
・中古品を購入してもいいと思うけど、そういうショップが近くにない。メルカリは、不安で出来ない。（④）
・買った方がいいが、体調不良で調理できず、だめにしてしまう生鮮食品がある。堆肥にしたいが、ポートの置き場所が無いから棄ててしまう。（⑤）
・多世帯家族なので、管理が難しい。無駄な食品がロスになっています。（⑤）
・買いすぎて忘れて腐らせる。（⑤）
・廃油回収やフードバンクへのアクセス方法がわからない。（⑥）
・必要分しか購入しないため、フードドライブに提供することができない。（⑥）
・使い捨ては便利だし、気が付くとたいして要らないものを買ってしまっている。（⑦）
・分別が細くなりすぎてついていけなくなった。さらに分別が増えたことにより、結果的に今までやっていた分別すらやらなくなってしまった。細くなりすぎて分別する気力を失ってしまったイメージです。（⑧）
・最近プラスチックも分別回収になったが、汚れたプラスチックをたくさん洗剤を使って洗うのもそれはそれで環境によくない気がして、燃えるゴミに出してしまっている。（⑧）

問12-1 緑や水辺、生きものの保全に関するあなたの取組の状況について、当てはまるものを選んでください。
※①～⑨について、それぞれ一つだけ選択してください。

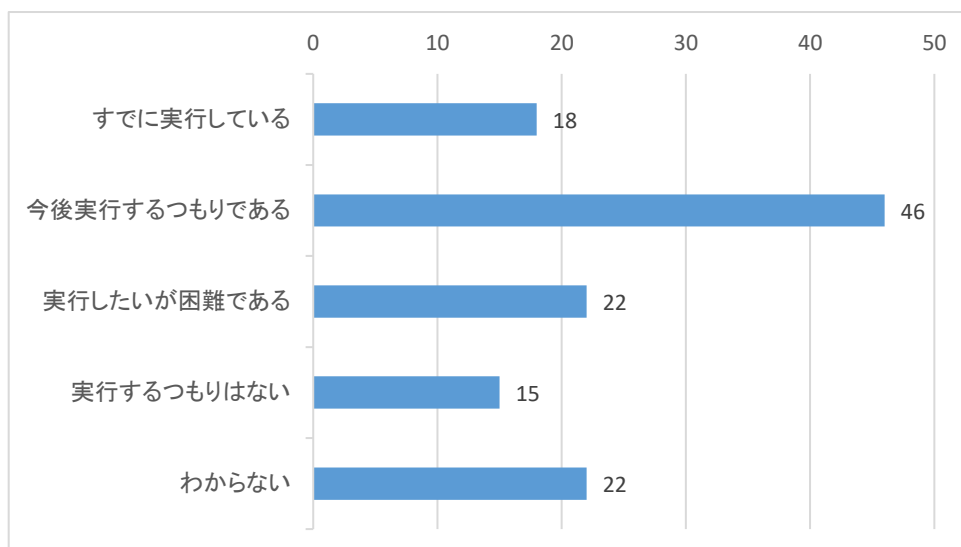
① 庭やベランダで花や緑を育てて、身近な緑を増やす



n=123

「すでに実行している」と回答した人が72人（58.5%）で最も多かった。

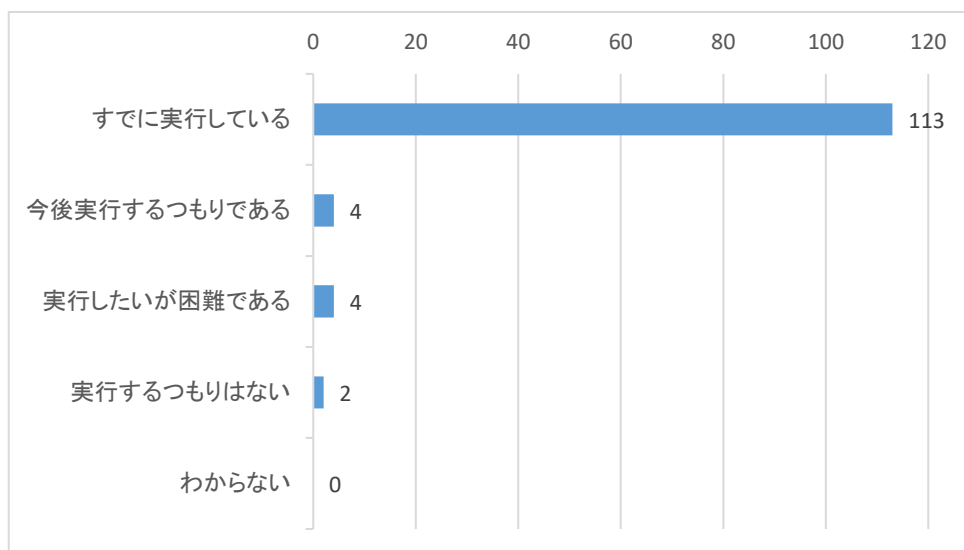
② 地域の緑に愛着を持ち、地域の緑化活動に参加する



n=123

「今後実行するつもりである」と回答した人が46人（37.4%）で最も多かった。

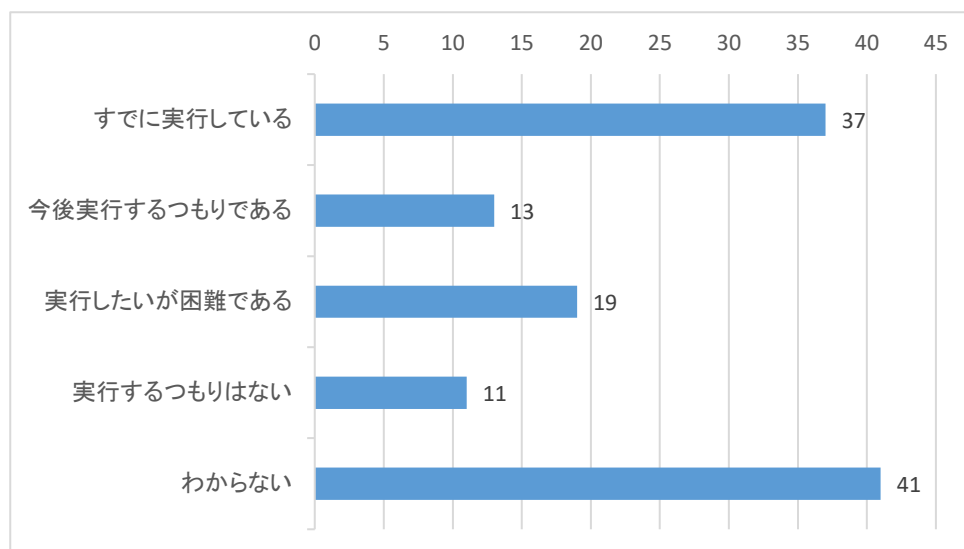
③ 【土地・建物をお持ちの場合】 所有する木などの緑をできるだけ残すようにする



n=123

「すでに実行している」と回答した人が113人（91.9%）で最も多かった。

④ 【土地・建物をお持ちの場合】 敷地内にできるだけ土などを残し、雨水が地下に浸透しやすくする

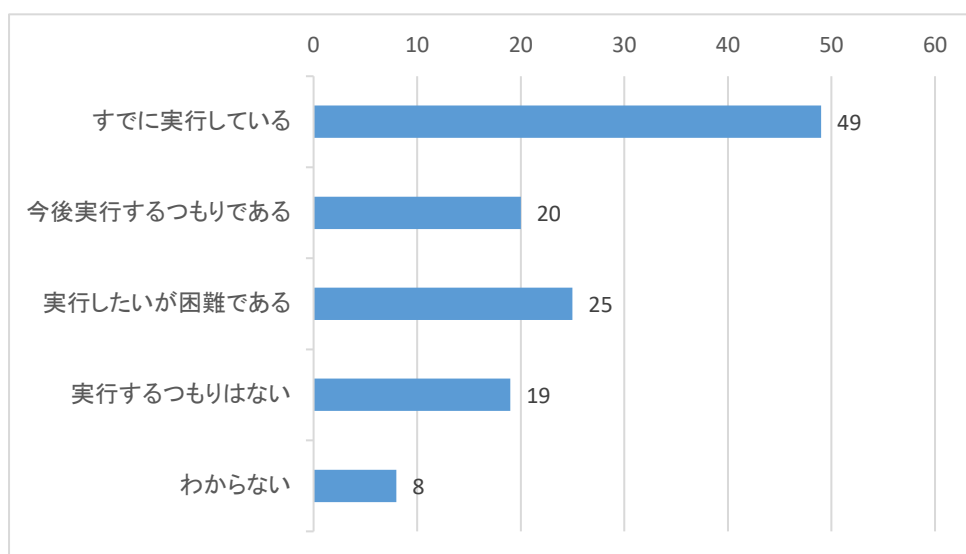


n=121

未回答=2

「わからない」と回答した人が41人（33.9%）で最も多かった。

⑤ 週末や余暇に、公園や水辺に出かけたり、野菜の栽培などを行うなどして自然とふれあう

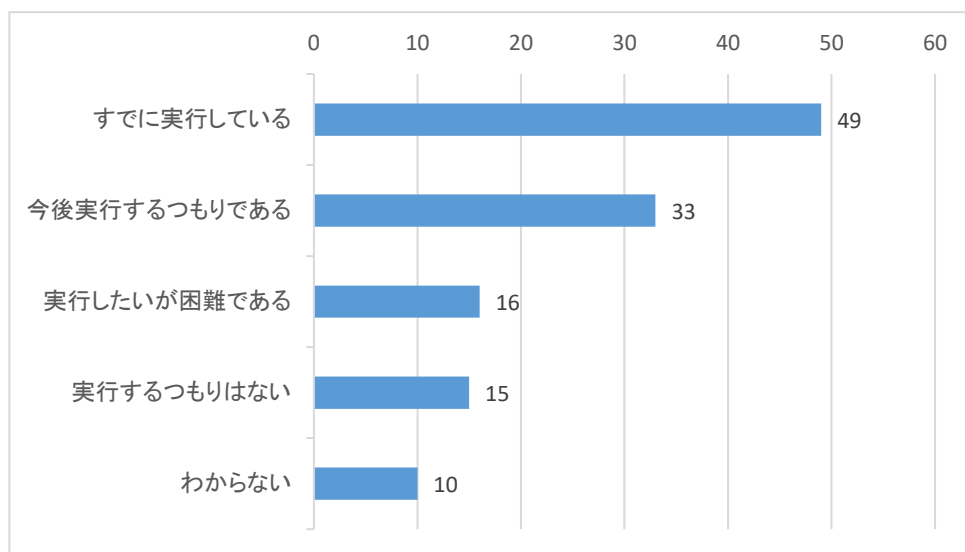


n=121

未回答=2

「すでに実行している」と回答した人が49人（40.5%）で最も多かった。

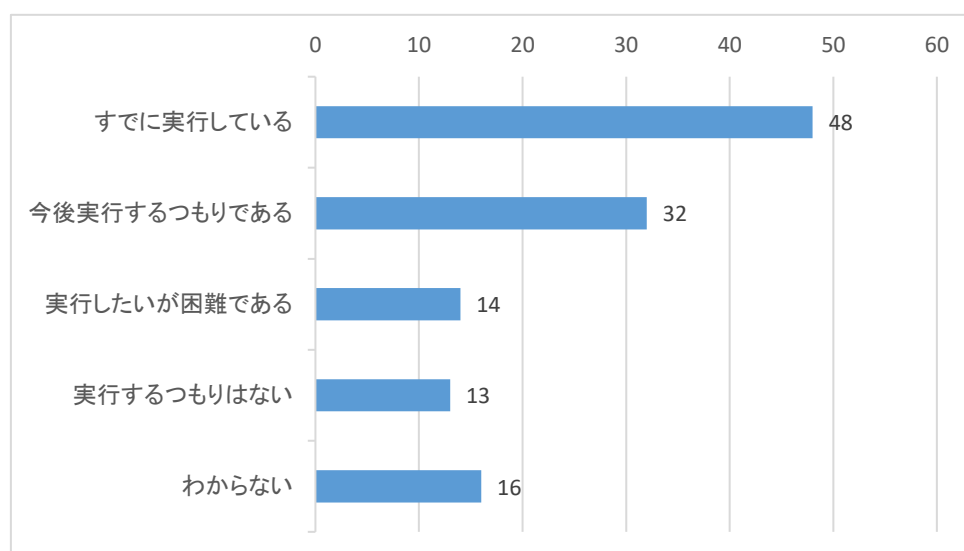
⑥ 身近な生きものに関心を持ち、庭先やベランダなどで花や植物を育てたり、自然観察イベントなどに積極的に参加する



n=123

「すでに実行している」と回答した人が49人（39.8%）で最も多かった。

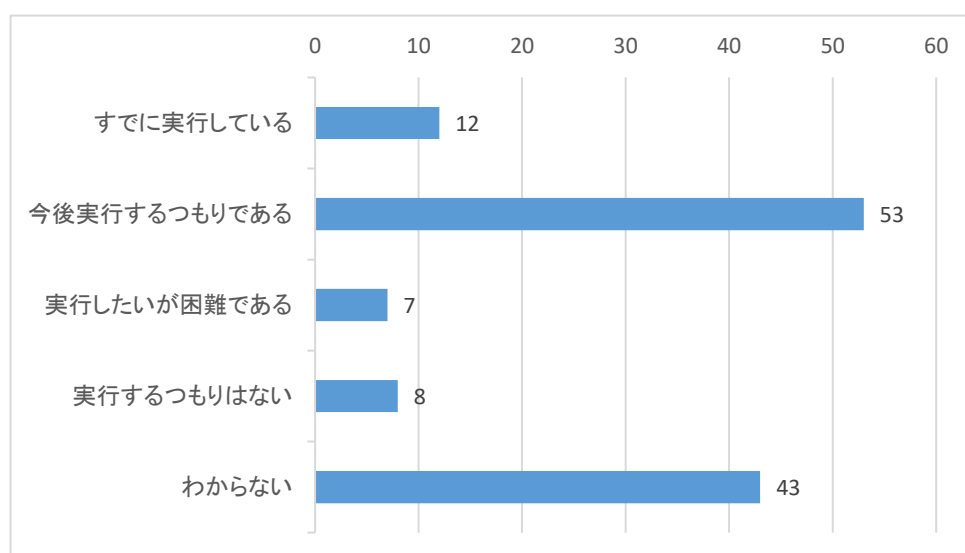
⑦ エコポリスセンターや熱帯環境植物館、赤塚植物園など、自然を体験・学習できる場を利用する



n=123

「すでに実行している」と回答した人が48人（39.0%）で最も多かった。

⑧ 生物多様性に配慮した認証製品※を積極的に選ぶ

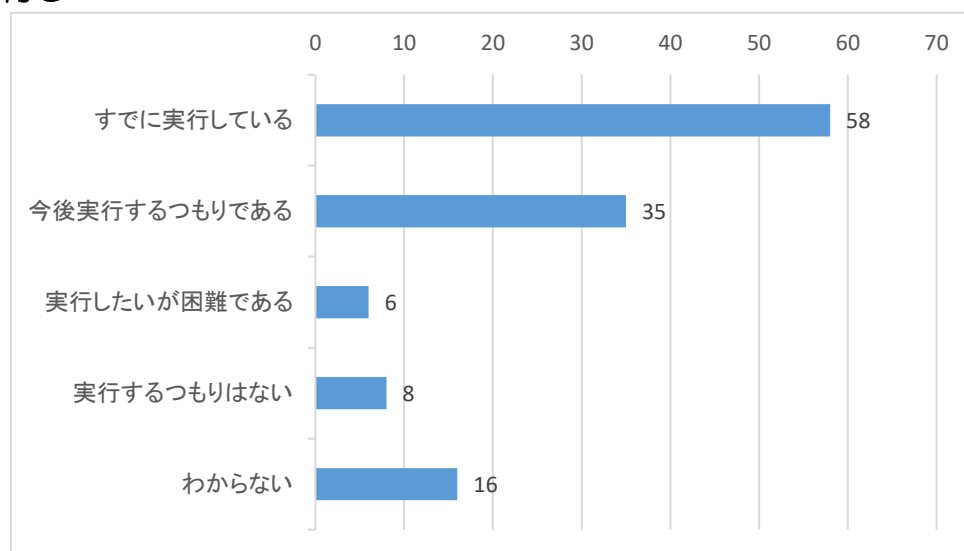


n=123

「今後実行するつもりである」と回答した人が53人（43.1%）で最も多かった。

※生物多様性に配慮した認証製品：森林の保護に配慮して生産された製品、水産資源や海洋環境を守って獲られた水産物、生物多様性に配慮して生産・加工・流通・販売が行われたことを示す認証ラベルがついた製品のこと。

⑨ 緑や水辺、生きものの保全について、新聞やテレビ、インターネット等をとおして情報を得る



n=123

「すでに実行している」と回答した人が58人（47.2%）で最も多かった。

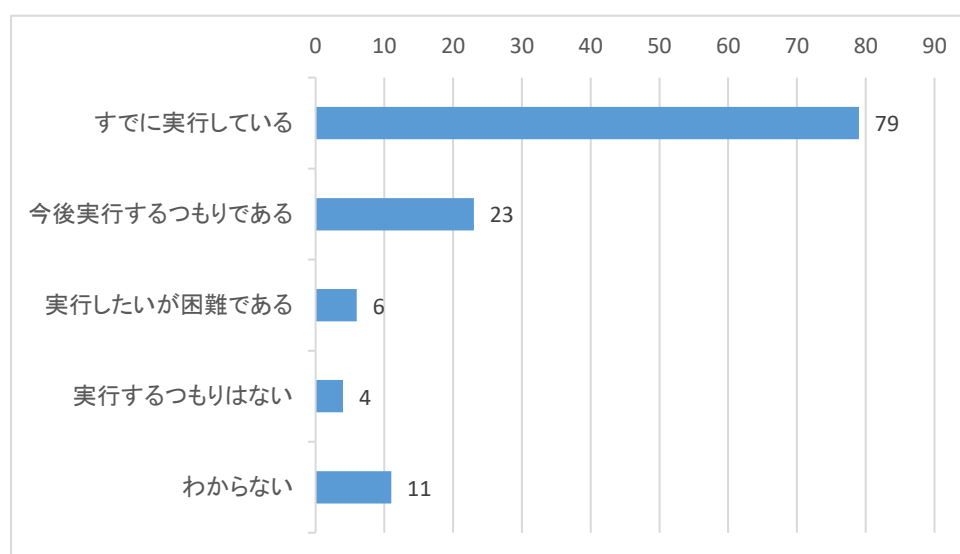
問12-2 問12-1で「実行したいが困難である」または「実行するつもりはない」を1つでも選んだ方に伺います。これらを選んだ理由を教えてください。【自由記述】

・身体的事由や体調面により難しい。
・費用や手間がかかる。
・興味がない、緑が増えると虫も増えるのが嫌なため。
・子どもが外出したがる。
・付記された内容が保全に繋がると思えないので。
・時間がない。
・購入する際、比較しての価格が重要なので。
・取り組む必要がないと思ってるから。
・古い家、建物を壊して何が出来るかみていると、すべてマンションで、どんどん土をなくして太陽光を遮るものばかりを増やしている。どうやって土や植物、木、動物と触れ合うのか。かかっていることと実際の街の変化が合っていない。
・効果が定かでなく制限だけ増えることから実行する価値がないため。
・取り組みたいが、虫や微生物、カビが苦手。
・取り組む方法がわからない。
・ベランダで緑を育てるのは、手入れ等が行き届かず、失敗する想定のため。（過去にはやりましたが・・・）（①・⑥）

・居住環境上、難しい。（育てられる広さの庭やベランダがない。ベランダの西日がひどく、今年初めて朝顔を置いたが、高温で数日でダメになった。マンションなので、強風で、落ち葉や土、砂などが隣のベランダや下階に飛んでいき、苦情がくる。ベランダに植木を置くことが禁止されているなど。）（①・⑥）
・地域の緑化活動に参加するほどの時間が取れない現状である。（②）
・地域の緑は、先に参加してる人の考えや方針で進められていそうで、途中からの参加に躊躇する。（②）
・以前は自宅の庭は一面土にしていたが、土の中からガラス片が多数出てきたことがあったため、子が生まれてからは土の庭をやめてしまった。今から元に戻すのは難しい。（④）
・空いている部分はコンクリートを敷きつめているため、土にしたいが、費用がかかるためできない。（④）
・登山や温泉旅行に行きたいが、盛んに報道されている熊による人身被害がとても気になり、予定を中止しました。（⑤）
・足が悪いため、遠くて行けない。（⑦）
・生物多様性認証商品は、情報が少なくわからない。積極的なPRを望みます。（⑧）
・認証商品とかの、言葉のくくりが、誘導的で良くないです。（⑧）
・情報を得ても、取り組むことが難しい。（⑨）

問13-1 近隣の生活環境の保全に関するあなたの取組の状況について、当てはまるものを選んでください。
※①～⑥について、それぞれ一つだけ選択してください。

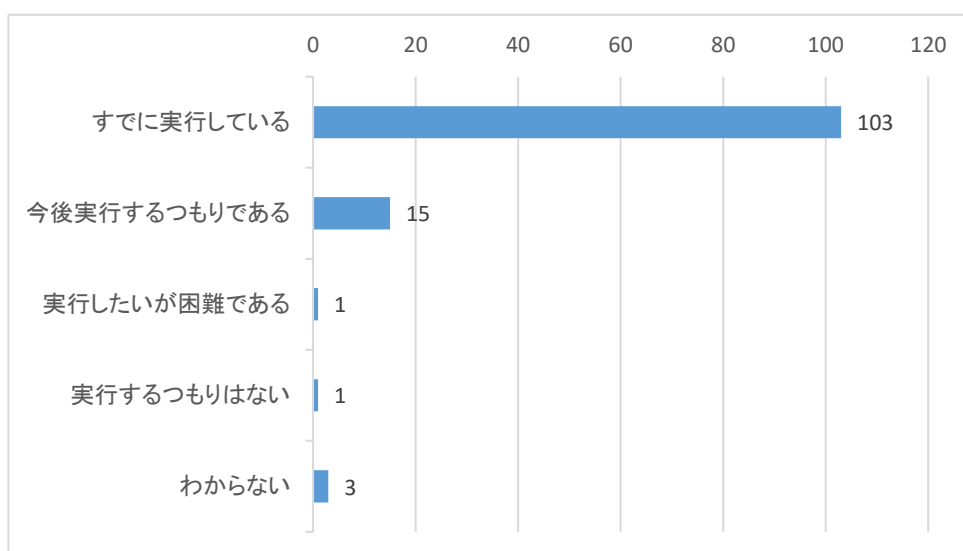
① 大気や騒音など身の回りの生活環境の状態に関心を持つ



n=123

「すでに実行している」と回答した人が79人（64.2%）で最も多かった。

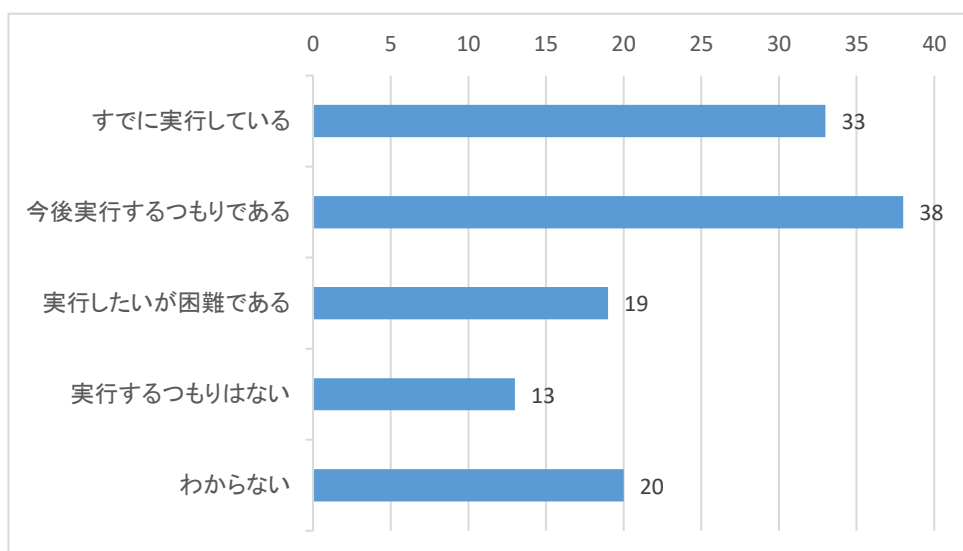
② たばこの吸い殻やごみのポイ捨て、自転車の放置などをせず、マナーを守り、まちの美化を推進する



n=123

「すでに実行している」と回答した人が103人（83.7%）で最も多かった。

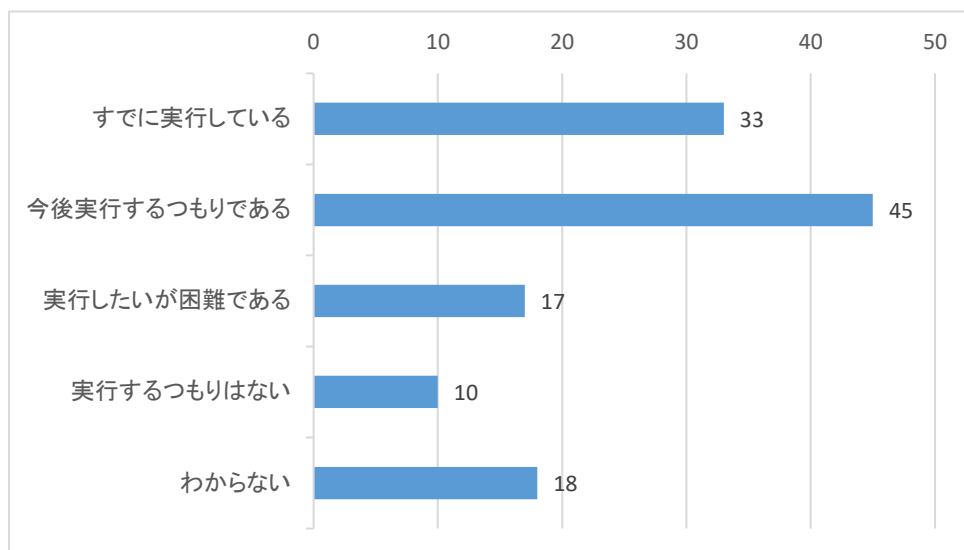
③ 地域の美化活動に積極的に参加する



n=123

「今後実行するつもりである」と回答した人が38人（30.9%）で最も多かった。

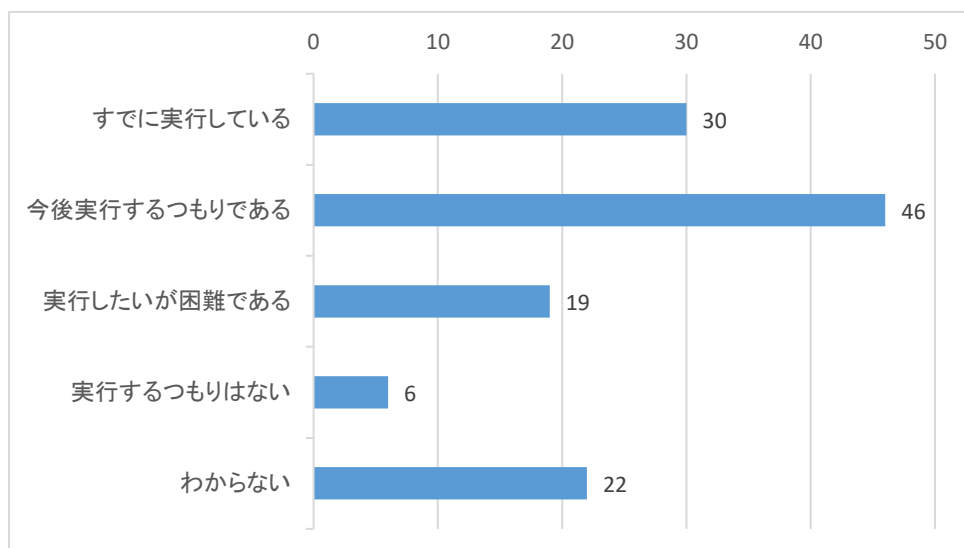
④ まちづくりに参加、協力し、良好な住環境・生活環境の保全に努める



n=123

「今後実行するつもりである」と回答した人が45人（36.6%）で最も多かった。

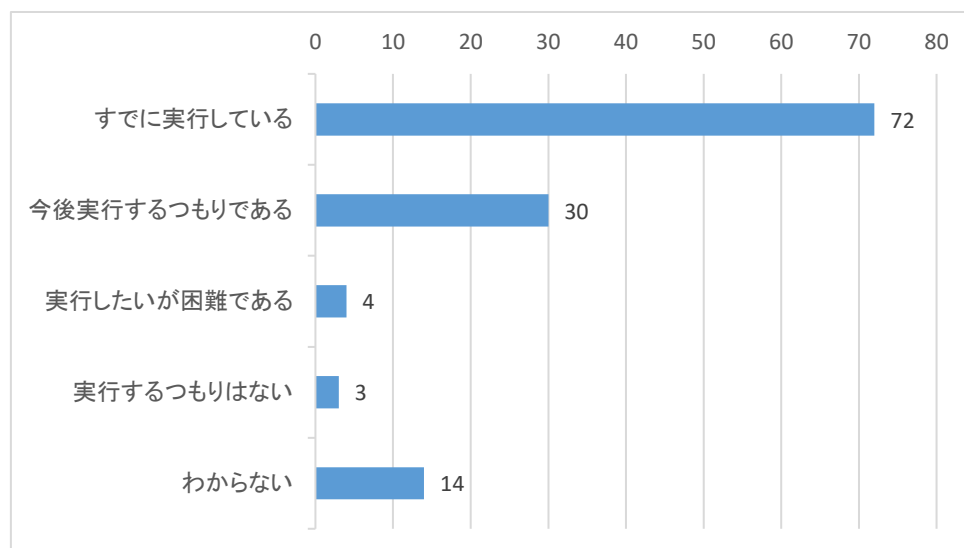
⑤ 街なかの景観に関心を持ち、景観づくりに協力する



n=123

「今後実行するつもりである」と回答した人が46人（37.4%）で最も多かった。

⑥ 生活環境の保全について、新聞やテレビ、インターネット等をとおして情報を得る



n=123

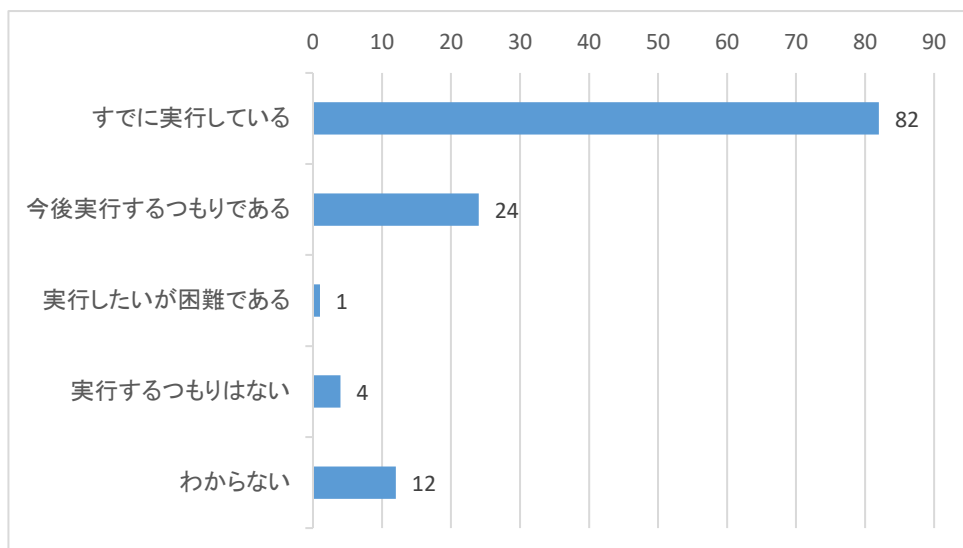
「すでに実行している」と回答した人が72人（58.5%）で最も多かった。

問13-2 問13-1で「実行したいが困難である」または「実行するつもりはない」を1つでも選んだ方に伺います。これらを選んだ理由を教えてください。【自由記述】

・取り組む方法がわからないのと、板橋区からの情報提供があまりないと感じる。
・手間がかかる。
・身体的事由や健康面により難しい。
・近所付き合いが希薄なため、休日等に出向く気持ちがない。
・全く興味がないため。
・年齢とともに積極的な参加は厳しくなってきた。
・時間がない。
・参加する機会がない。（日程が合わない）
・個人より大企業にお願いして欲しい。
・個人での取組は行うが、グループ活動には参加するつもりはないため。
・大気汚染など関心はあるが、どう実行すれば良いのかわからない。個人宅での騒音は、実行に移したいが、トラブルになることを懸念して実行に移せないでいる。逆に、我が家でも騒音を出している可能性がある。（①）
・街づくり・景観づくりは行政の仕事では？（④・⑤）
・これ以上の美化や景観作りは過剰。現状で十分。（⑤）
・情報収集は必要ないと思ってるから。（⑥）

問14-1 環境教育・環境保全活動に関するあなたの取組の状況について、当てはまるものを選んでください。
※①～④について、それぞれ一つだけ選択してください。

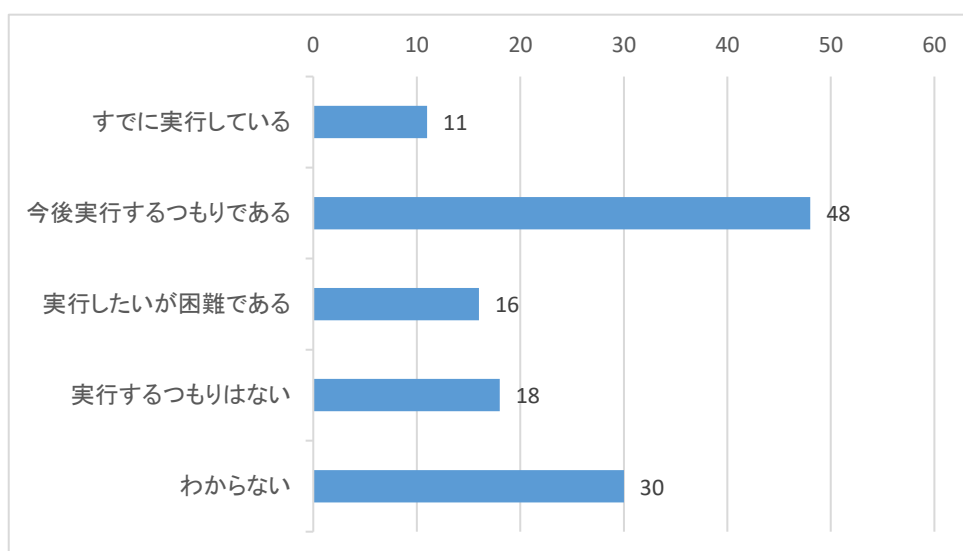
① 環境に関して、新聞やテレビ、インターネット等をとおして情報を得る



n=123

「すでに実行している」と回答した人が82人（66.7%）で最も多かった。

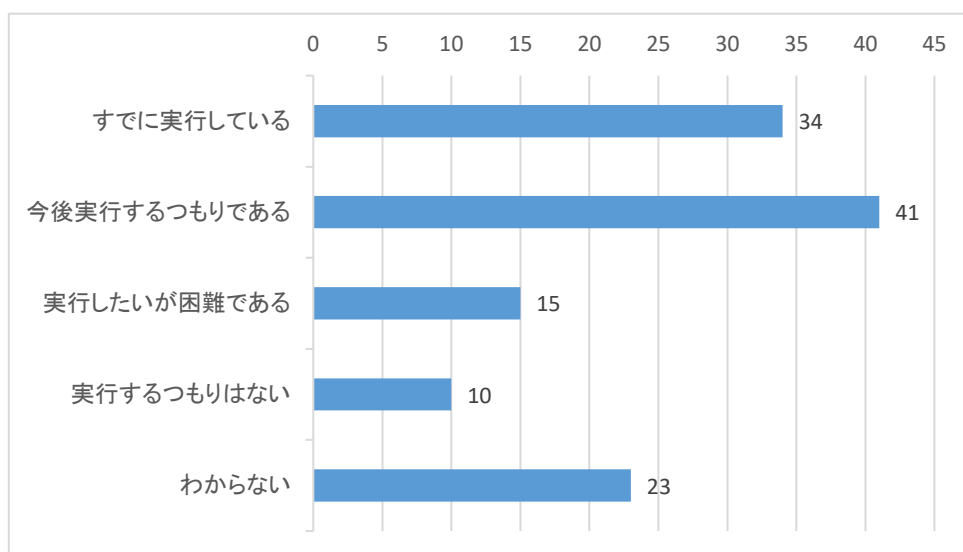
② エコポリスセンターなどが行う環境の講座に参加する



n=123

「今後実行するつもりである」と回答した人が48人（39.0%）で最も多かった。

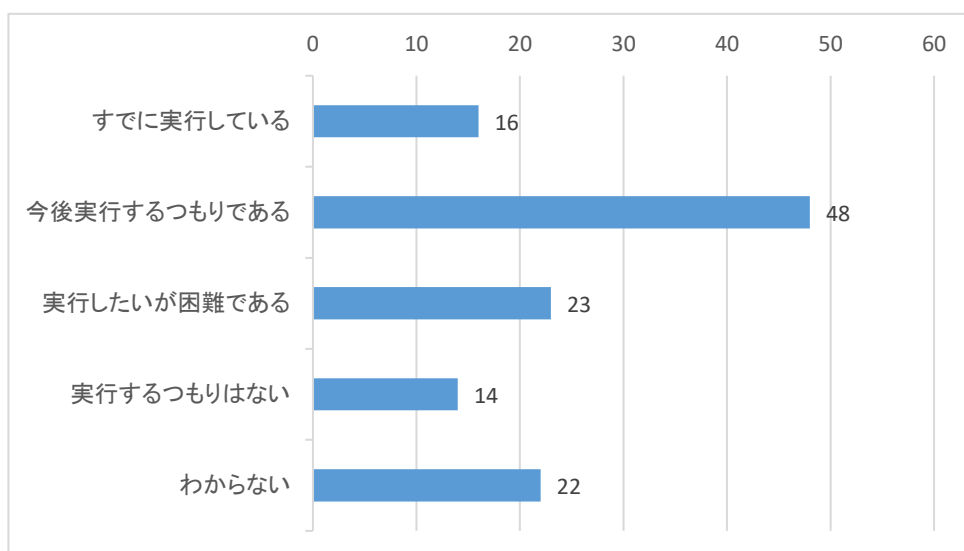
③ 地域の環境保全活動（樹林地の保全活動、リサイクル活動など）に参加する



n=123

「今後実行するつもりである」と回答した人が41人（33.3%）で最も多かった。

④ 環境関連イベントや、自然を観察・体験するイベントに積極的に参加する



n=123

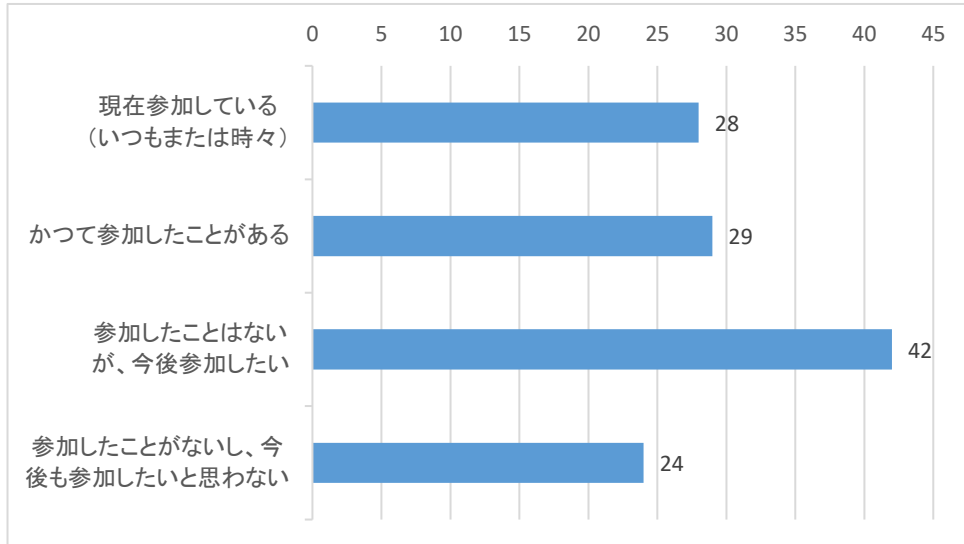
「今後実行するつもりである」と回答した人が48人（39.0%）で最も多かった。

問14-2 問14-1で「実行したいが困難である」または「実行するつもりはない」を1つでも選んだ方に伺います。これらを選んだ理由を教えてください。【自由記述】

・ 身体的事由や健康面により難しい。
・ 平日開催が多い気がします。
・ 時間を合わせたり面倒になってしまうので、個人で出来る事に専念する。
・ 時間がない。
・ 情報がない。
・ 資源リサイクルは行っているが、区で行っている講座・セミナー・イベントの情報はほぼ入ってこない。
・ エコポリスセンターの地域における活動が活発には思えないし、新しいことをしていない。
・ 家庭事情で参加できない。
・ 手間がかかる。
・ 取り組む方法がわからない。
・ 情報と実際の街の変化が違いすぎる。
・ 現状で十分。これ以上は過剰。
・ 人付き合いが得意でない。
・ 環境問題については個人で活動することにしているので、地域のイベント等に参加するつもりはない
・ 魅力がよく分からない。
・ 全く興味がないため。
・ 必要性を感じないので。
・ エコポリスセンター自体が分からない。(②)
・ エコポリスセンターは遠い、交通も不便。(②)
・ インターネット等で情報収集するため講座には参加しない。(②)
・ 自宅の近くに赤羽自然観察公園という大きくて立派な公園があり、さかうえ児童館や、小豆沢の保育園も、遠足で利用しているのですが、大人も自然を観察・体験するイベントに参加したいので、広報いたばしに情報を載せて欲しいです。(④)

問15-1 次の環境に関する活動への参加状況について、当てはまるものを選んでください。
 ※①～⑦について、それぞれ一つだけ選択してください。

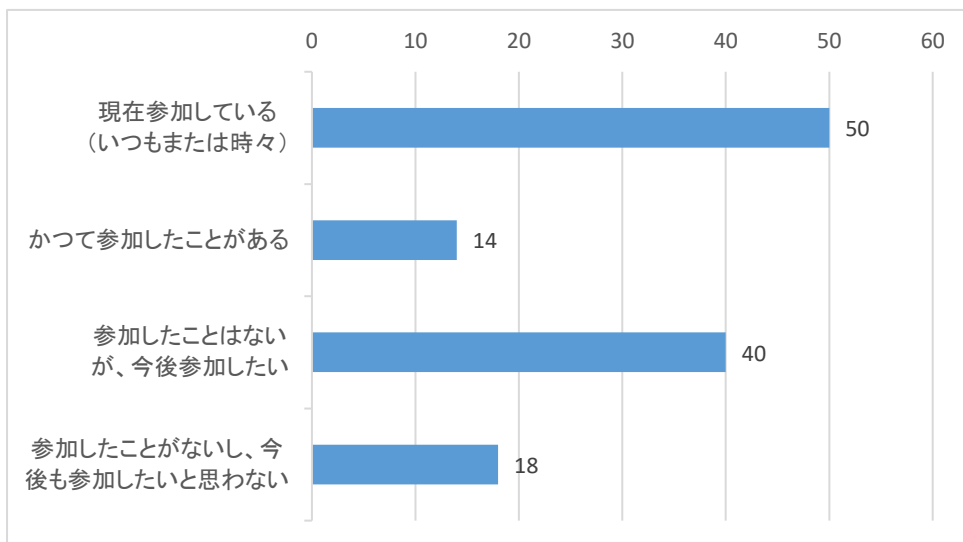
① 地域の清掃・美化活動



n=123

「参加したことはないが、今後参加したい」と回答した人が42人（34.1%）で最も多かった。

② 地域のリサイクル活動

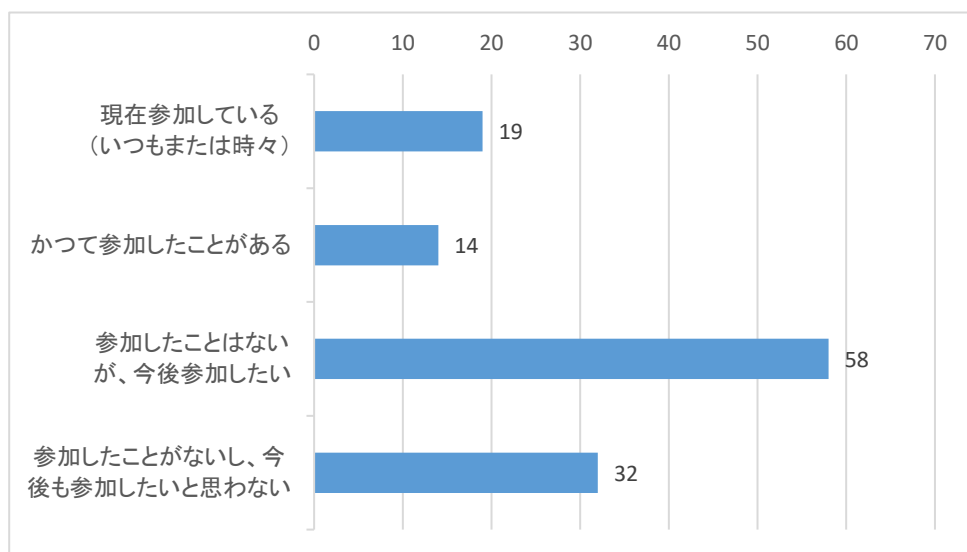


n=122

未回答=1

「現在参加している（いつもまたは時々）」と回答した人が50人（41.0%）で最も多かった。

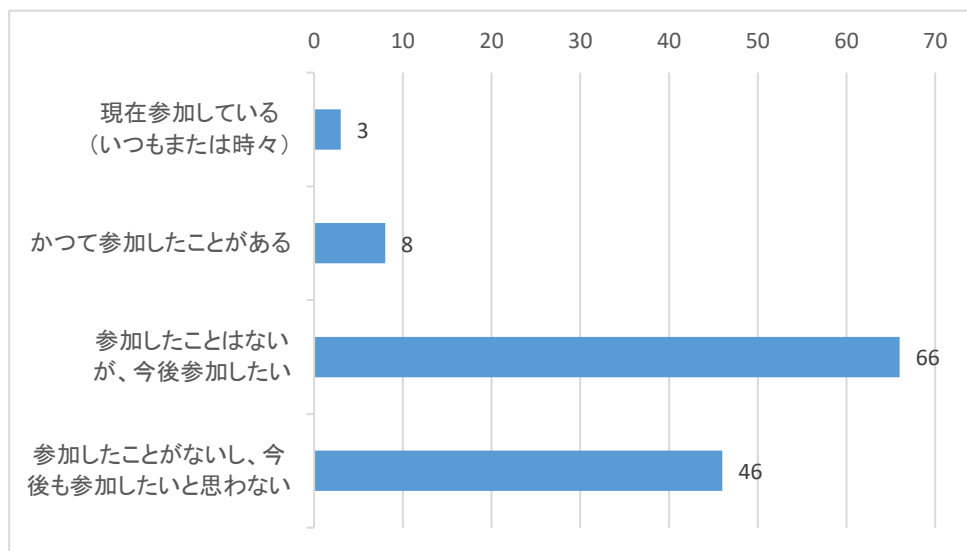
③ 地域の緑化活動



n=123

「参加したことはないが、今後参加したい」と回答した人が58人（47.2%）で最も多かった。

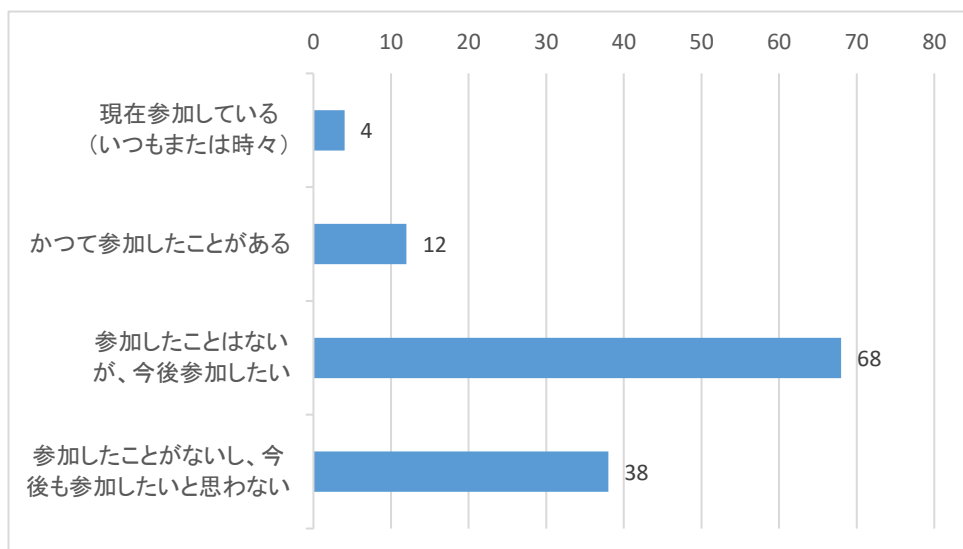
④ 河川の保全活動



n=123

「参加したことはないが、今後参加したい」と回答した人が66人（53.7%）で最も多かった。

⑤ 地域の自然や生物の保全活動

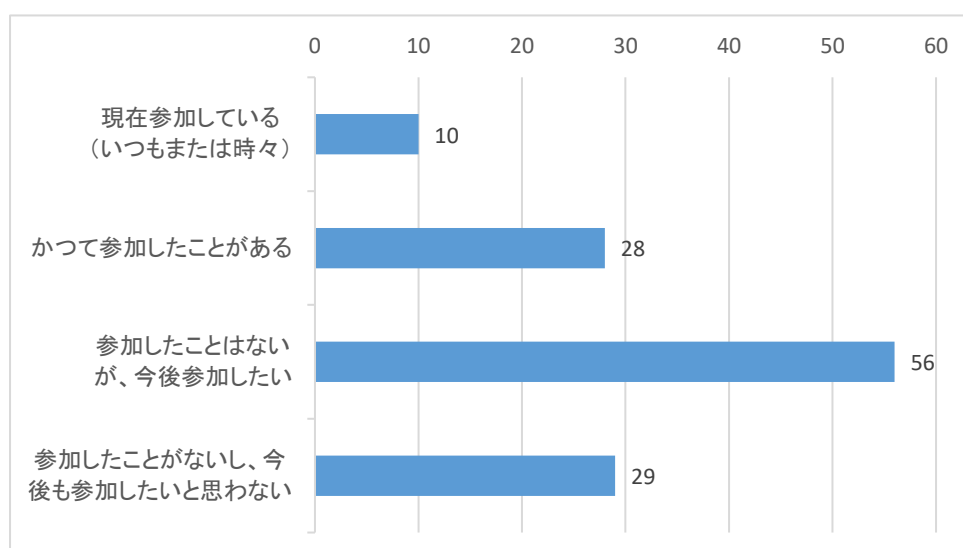


n=122

未回答=1

「参加したことはないが、今後参加したい」と回答した人が68人（55.7%）で最も多かった。

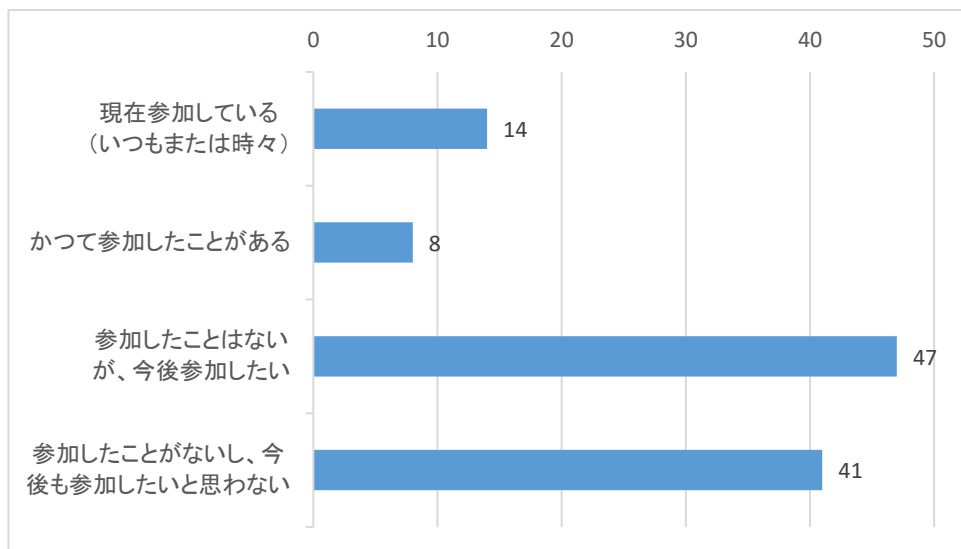
⑥ 環境をテーマとした講座・講演会・勉強会・イベント



n=123

「参加したことはないが、今後参加したい」と回答した人が56人（45.5%）で最も多かった。

⑦ その他の活動



n=110

未回答=13

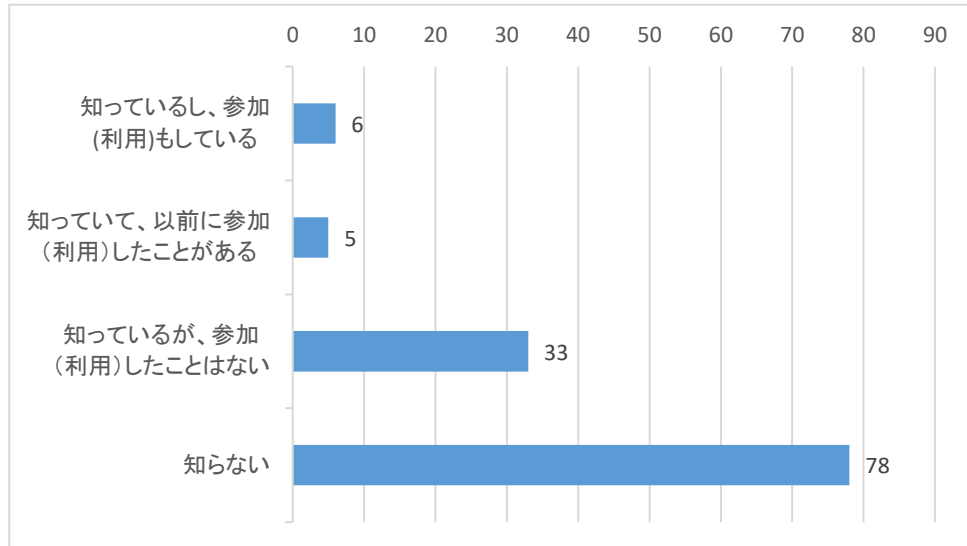
「参加したことはないが、今後参加したい」と回答した人が47人（42.7%）で最も多かった。

問15-2 問15-1「⑦その他の活動」について、具体的な内容があればご入力ください。

・環境保全活動の普及啓発、提言
・募金、寄付
・商品を購入することによる（商品代金に含まれる）ボルネオの自然保護
・路上喫煙を取り締まるためのパトロール活動やポスターを貼るなどの啓蒙活動
・周辺小中学校の環境活動に協力
・清掃工場や下水処理場、最終処分場への視察、等
・緑の維持（草刈、剪定）

問16 板橋区の次の取組、施設を知っていますか。当てはまるものを選んでください。
 ※①～⑧について、それぞれ一つだけ選択してください。

① 「ゼロカーボンいたばし2050」の表明

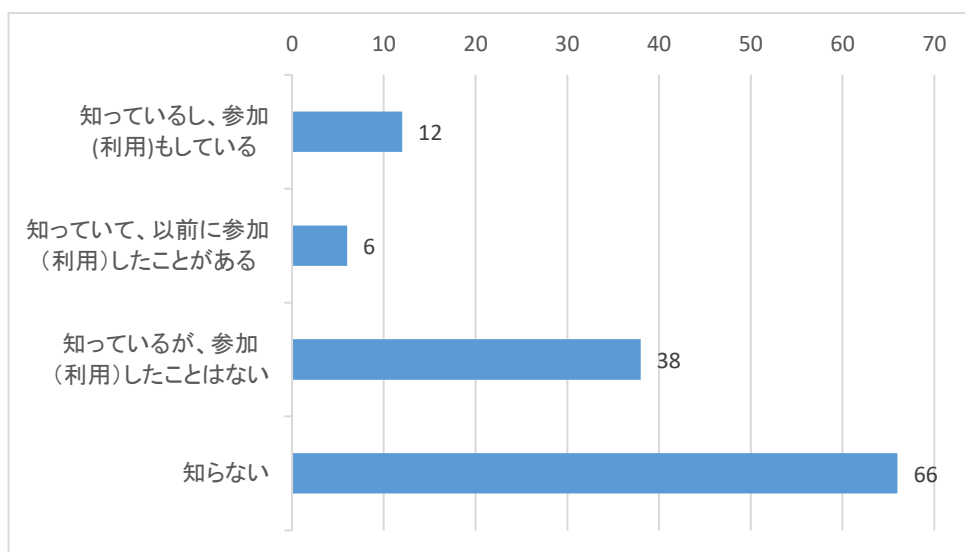


n=122

未回答=1

「知らない」と回答した人が78人（63.9%）で最も多かった。

② いたばし環境アクションポイント事業

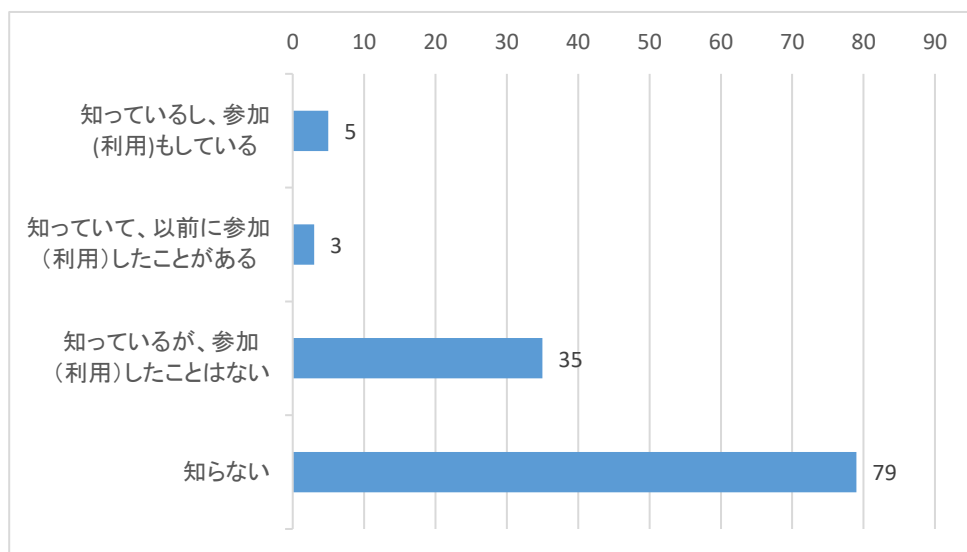


n=122

未回答=1

「知らない」と回答した人が66人（54.1%）で最も多かった。

③ 環境なんでも見本市

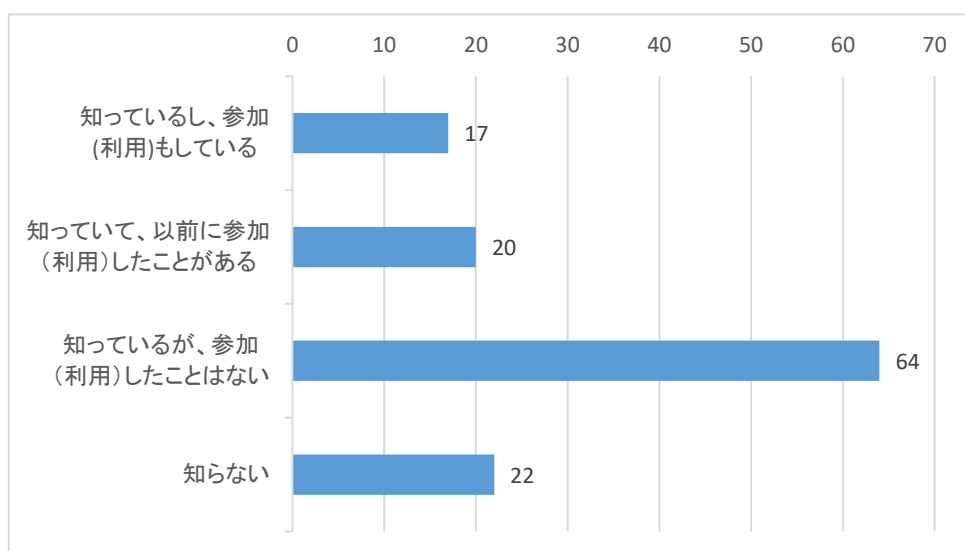


n=122

未回答=1

「知らない」と回答した人が79人（64.8%）で最も多かった。

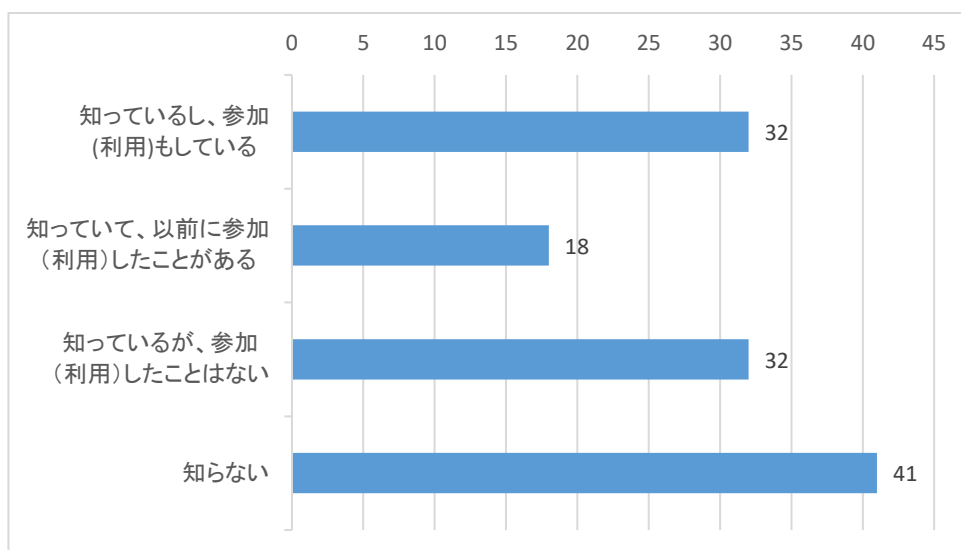
④ 緑のカーテン



n=123

「知っているが、参加（利用）したことはない」と回答した人が64人（52.0%）で最も多かった。

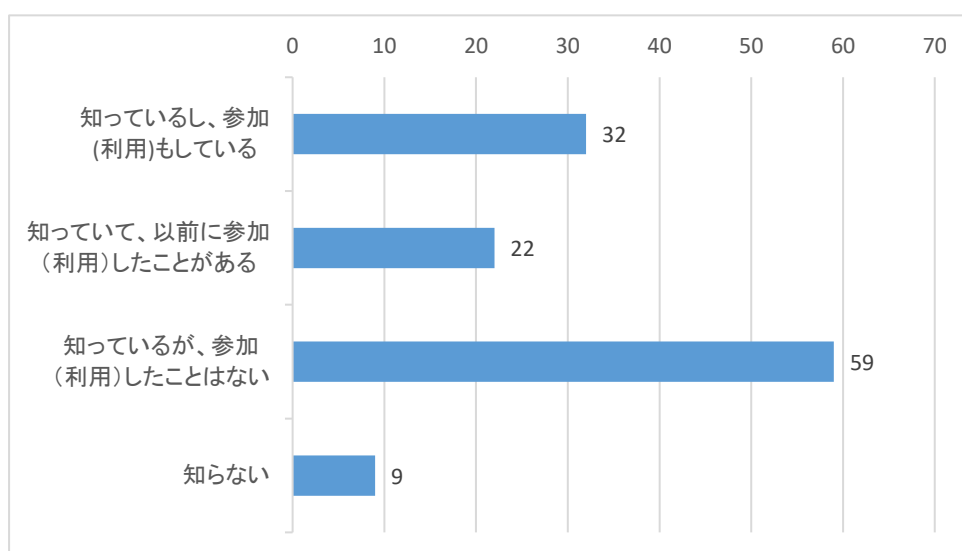
⑤ 板橋かたつむり運動



n=123

「知らない」と回答した人が41人（33.3%）で最も多かった。

⑥ エコポリスセンター

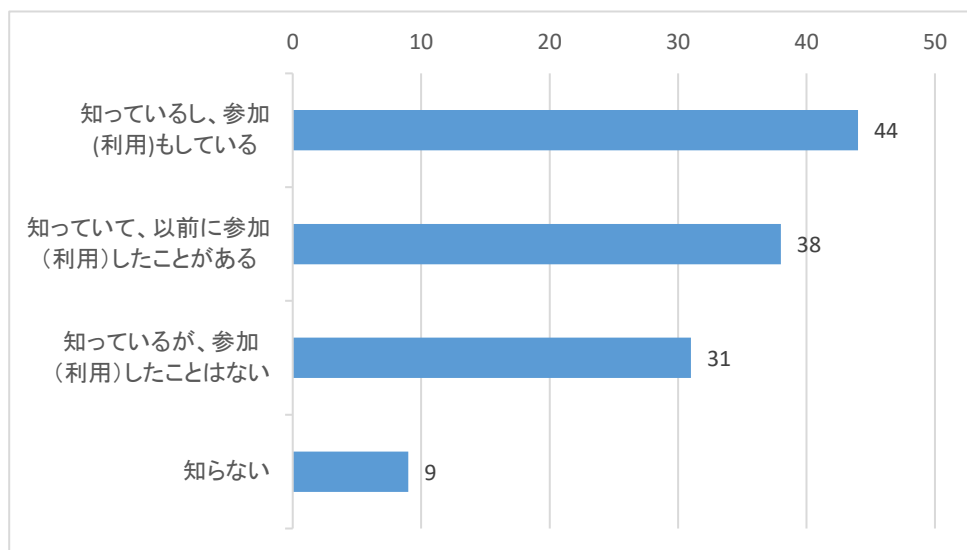


n=122

未回答=1

「知っているが、参加（利用）したことはない」と回答した人が59人（48.4%）で最も多かった。

⑦ 熱帯環境植物館

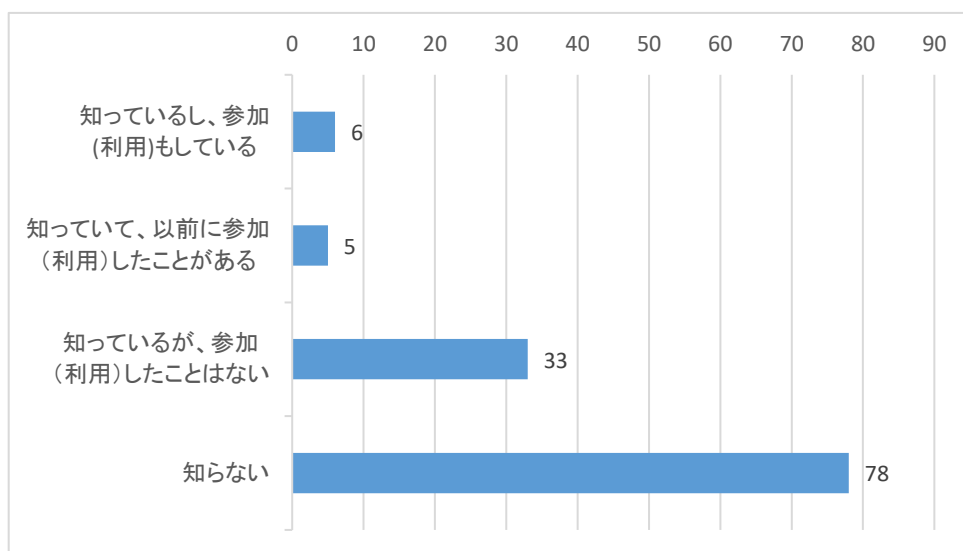


n=122

未回答=1

「知っているし、参加(利用)もしている」と回答した人が44人（36.1%）で最も多かった。

⑧ リサイクルプラザ

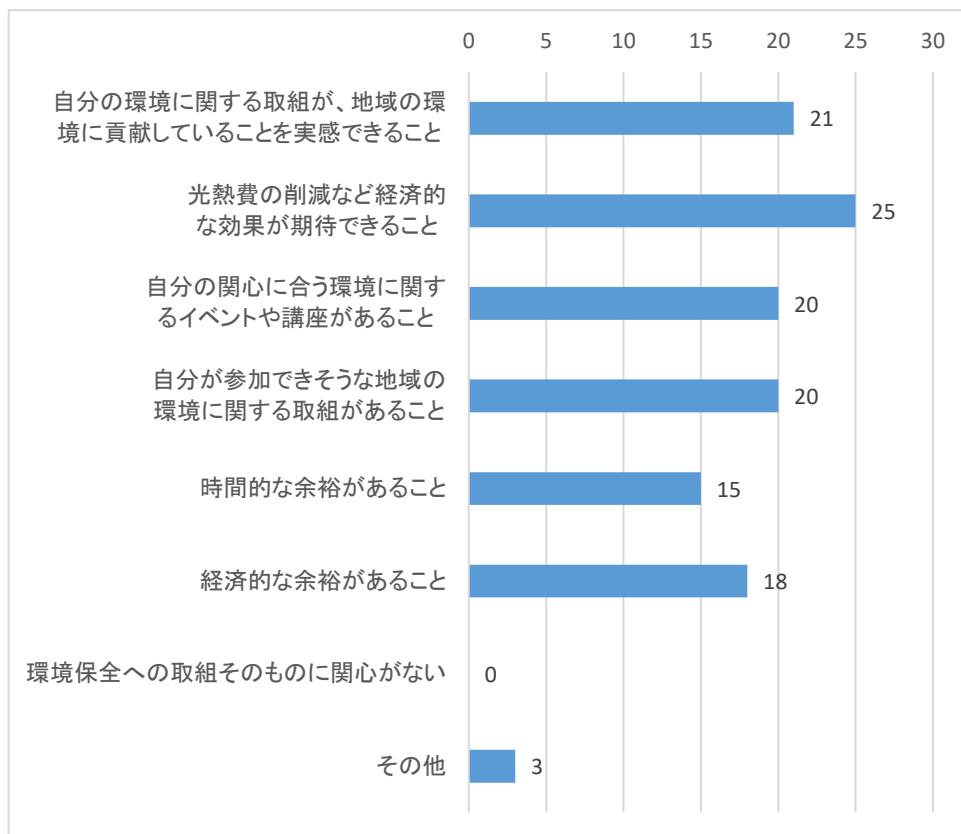


n=122

未回答=1

「知らない」と回答した人が78人（63.9%）で最も多かった。

問17 どのようなことがあなたの環境保全への取組を後押ししますか。
最も重要だと思うことを選んでください。



n=122

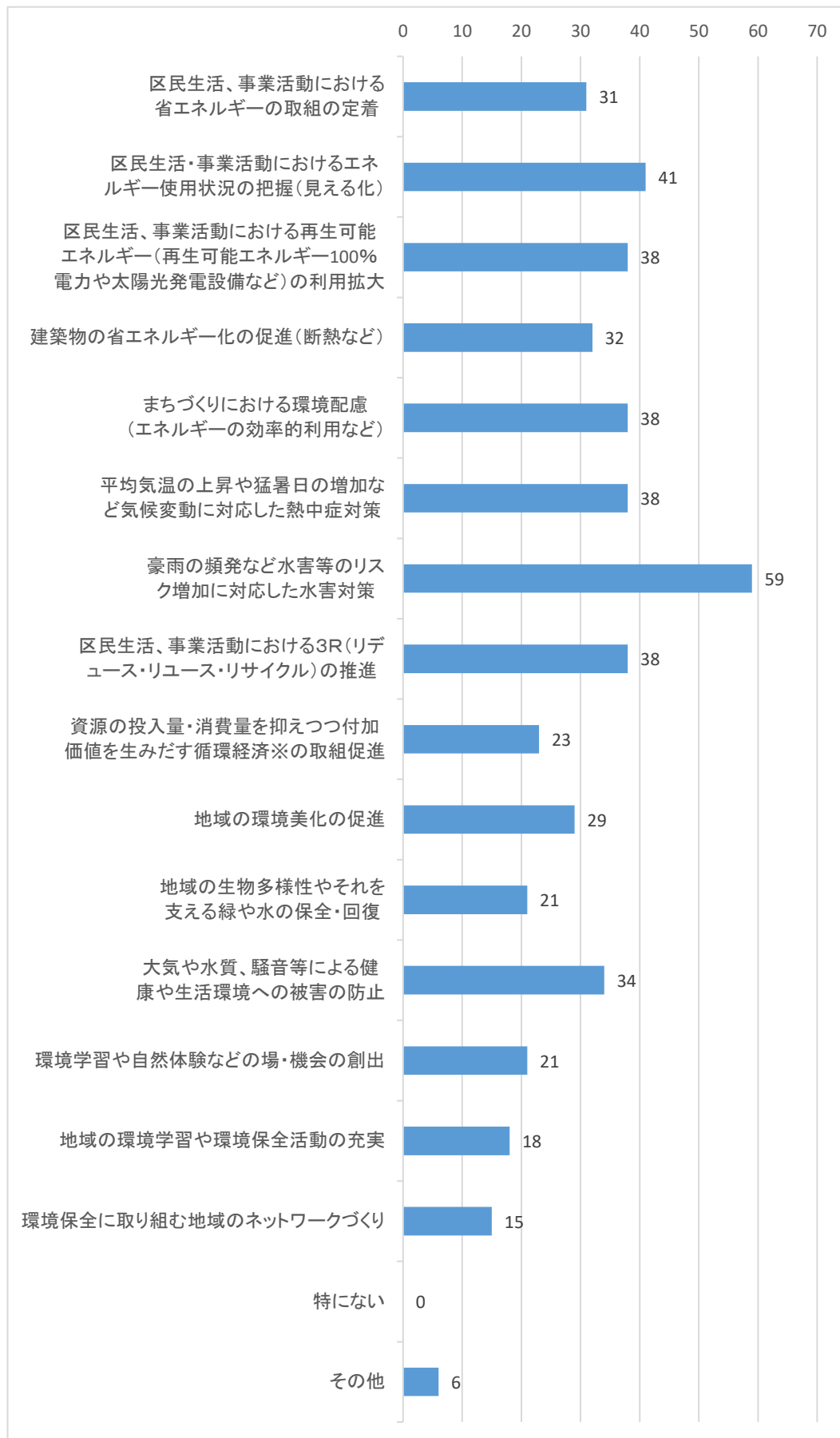
未回答=1

「光熱費の削減など経済的な効果が期待できること」と回答した人が25人（20.5%）で最も多かった。

《その他の回答》

- ・オンライン講座の開設など
- ・身体に負担のかからない事なら参加できるかも。
- ・個人が頑張っても、行政による取り組みが十分でなければ意味はない。行政が環境保全の姿勢を示してほしい。

問18 地域の環境をより良くしていくために板橋区が今後重点的に取り組むべきだと思うことを選んでください。（重要度が高いと思うものを5つまで）



n=122

未回答=1

「豪雨の頻発など水害等のリスク増加に対応した水害対策」と回答した人が59人（48.4%）で最も多かった。

※循環経済：従来の3R（リデュース・リユース・リサイクル）の取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動のこと。サーキュラーエコノミーともいう。

《その他の回答》

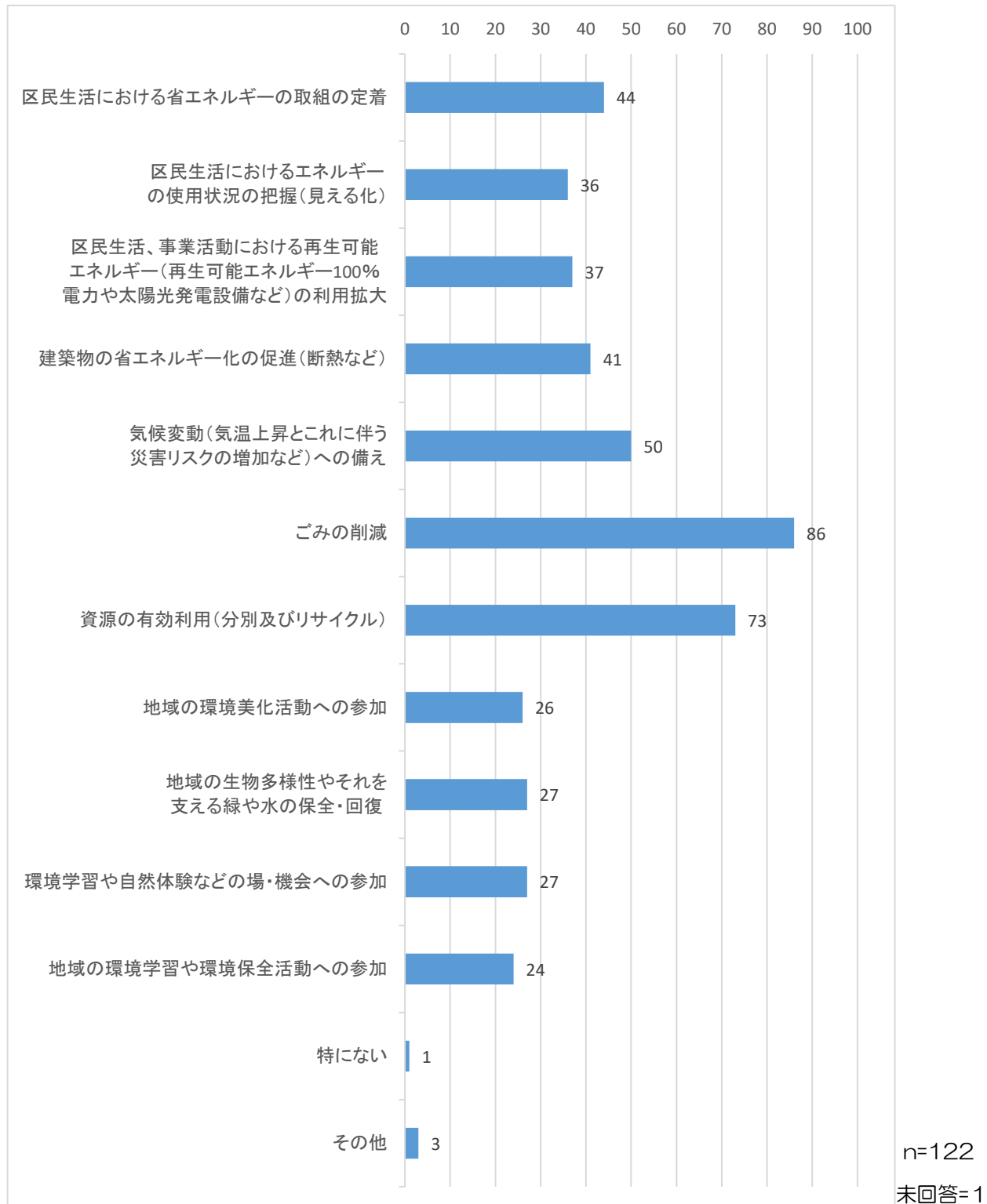
・リサイクルは板橋の心だと息子たちが通った小学校の副校長から聞いたことがある。とりあえず今ゴミになっている資源の分別で、今の収集は段階的なものなのだろうが、ゆくゆくはこうしたいとの指針を見せたらいいと思う。子ども達は学校で3R教育を受けているのだろうか、未来を見据えての方針を示してほしい。

・路上喫煙とポイ捨ての厳罰化

・夜の公園の利用規制(うるさくて寝られない)

・区が行う入札における、カーボンニュートラル/ネガティブ、サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブに関する具体的な数値の要件への反映及び強化

問19 地域の環境をより良くしていくために区民が今後重点的に取り組むべきだと思うことを選んでください。（重要度が高いと思うものを5つまで）



「ごみの削減」と回答した人が86人（70.5%）で最も多かった。

《その他の回答》

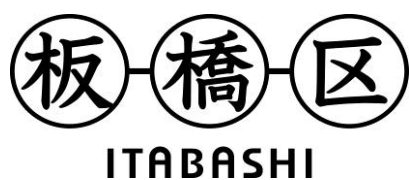
・様々な事象について自分事として考えること、他者を思いやる気持ちを持つことが大切だと思います。

問20 板橋区の環境や区の今後の取組に望むことについて、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。【自由記述】

・近隣の区の公園で巨木（樹木）が伐採されて（けやき、いちょうの木）いるが、その後切りっぱなしで何ら新しい植樹手当をしていない。
・荒川があり、2路線の間にアップダウンの多い緑の丘があり、都心に近く、庶民的な商店街があり、イオンも2つあり、とにかく公園が多く、バス路線が多く、街の風景がとても良い。こんな恵まれた23区内の「北西部」の立地条件のために、荒川土手にある「エコプラ」みたいな施設を今後も増やして欲しいです。
・和式トイレの洋式化が進めば、公園利用などの頻度が増えることになり、環境に対する認識が増えると感じる。板橋の公園は樹木が多いが、緑地が少ない。緑地を増やし、犬等の散歩ができる癒しの公園を目指していただきたい。旧図書館跡地を整備していただきたい。板橋区の公園は野生動物のトイレ化している。
・少子高齢社会が地元でもハッキリわかる、感じるので、これ以上のマンション、一戸建て住宅を許可、増やしてしまうと、環境破壊にもつながり心配。
・歩道が狭く、電信柱、木、植物が道に入り込んでいると目が悪い人にとってはとても怖く感じます。（特に夕刻）
・大きなマンションが建てられ、鳥の居場所が少なくなっている。この猛暑で節電などとは言っていられないことも事実である。緑や自然がせつかく多い板橋区に住んでいるので、意識の中には環境のことを考えながら生活していきたい。小さな呼びかけを続けていくことが大切だと思う。
・ボイ捨て運動監視員の活動が今一つインパクトがない。もう少し指導性を発揮しても良いのではないかな。
・太陽光発電設備について、設置数の数量的基準が必要であると思う。将来の処分困難な廃棄物を生産し続けているような気がしてならない。
・雨水の大半が地面に浸透せず、下水または河川に流出しています。地面に浸透するよう、または雨水を溜めて利用できるよう、何かの対策を考えていただければと思います。
・昔、日本テレビの情報番組で大気汚染についてやっていました。日本全国ワースト1は、東京都の板橋区でした。自分の住んでいる町が全国1位（ワースト）になってしまい、ショックを受けました。中山道沿いでは黒煙をたてたトラックや乗用車、バイクが早朝から夜中まで通り、その通り沿いの小学校に我が子が通学しています。成長段階で6年間も毎日この大気を身体に入れるのかと思うと、将来が心配です。この大気汚染を国や都と連携して改善して欲しいです。
・区の広報紙等を読むと取組として動いていることは良く分かるが、実際の取組実績が地域活動まで広く展開されている実感はしない。まだ、意識啓蒙や啓発活動が少ないのではないかな、あるいは（広報の）形や頻度が少ないのではないかなと感じる。
・各主体と連携し、板橋区の環境が悪化することがないように、引き続き環境保全活動に取り組んで欲しいです。
・プラスチックの回収を可燃ごみと同じ日にして欲しいです。分別すると可燃ごみのよりもプラがごみの量が多いです。
・大山町には何棟ものタワーマンションが建設中で、私の住んでいるところは視界がビルでふさがりました。月もほとんど見えなくなりました。将来的に人口も減っていく中、タワーマンションのような再生可能とは言い難い建築物を増やして良いものでしょうか。短期的な経済効果を求めるのではなく、長期的な視点でまちづくりをしていただきたいと切に願います。
・名前は忘れたがペラペラシート型の太陽光発電シートや、羽の無い小型風力発電機がもう少し一般普及したら、区役所や公共施設に優先して設置し、区民の古い家やマンションでも設置できるように補助してほしい。 また、川崎市がやっているような粗大ゴミ軽減とリサイクルリユース対策（民間リサイクル会社とタッグ組んでやっているリサイクルリユース活動）を板橋区でもやってほしい。
・ネットアンケートやパブリックコメント等、区民の声をとりあげる場面を増やしてほしい。

・例えば緑のカーテンにしても、言われたからやってる職員に、自発的に仕事の一環として取り組む働きかけをしてほしい。
・本来の民主主義はボトムアップかも知れないが、日本人には半強制的な面も必要であると思う。世論調査では、中負担、中福祉と唱えているが、実際は、世界一高福祉になっていると思う。それは政府が選挙目当てに走ってしまう。走らざるを得ない。国民に厳しい事は要求できない社会の為。我々全員が考えねばならない。
・隣区、隣市（隣県）との連帯
・生ごみ処理機導入補助その処理したものを回収、役立てるところまで区がお膳立てして欲しい。なるべく大きい木を、うまく残してほしい。
・リサイクル（ごみの分別）が細くなりすぎてついていけなくなっていました。もう少し簡単に組み合わせて、かつ、誰にでもパッと分かりやすい方法にしてもらいたいです。
・足を浸からせられる程の綺麗な水質の池がある、水資源と触れ合える公園が欲しい。
・道路の美化対策の一環として、お花の入れ替えはよいことですが、未だきれいに咲いているお花の撤去は見ていて寂しい。光が丘のように区民にください。あとのお片付けがご苦労かもしれませんが…
・大所高所からではなくごく身近な問題解決に対応して、やれば出来るんじゃない、という気持ちの積み上げが大所高所に繋がると思う。
・環境問題に関する喫緊の課題は様々あると思いますが、まずは意識の醸成（向上）であると思いますので、啓蒙啓発運動をさらに増やしていただきたいと思います。
・路上喫煙によるタバコの吸い殻のポイ捨てが環境を汚染していると感じています。道の側溝や公園、駅の近くの通りなど、あちこちに吸い殻が落ちており、側溝に流れた吸い殻は河川や海洋を汚染し、生態系を乱します。非常に身近な問題ですが、板橋区では軽視されていると思います。
・環境美化に力を入れて欲しいと思います。板橋区は町がきれいというイメージがありません。ゴミの分別なども徹底しておらず、不法投棄も散見されます。歩行者のゴミのポイ捨てもよくあります。上板橋も再開発できれいな街になるとと思いますが、それは表面的なことであり実際に住まう方の民度が低ければすぐに町は汚れると思います。区の「きれいな街づくりの施策」に期待したいです。
・「せっかく公園や緑地があるのだから、もう少しきれいに整備すれば街の雰囲気や景観も良くなるのに」と非常に残念に思った。
・環境についてどこの街でも行なっている取り組みであり、他地域との差別化・板橋としての独自性をもっと意識すべきである。板橋区は「グランド・デザイン」と「真の意味でのPR」をもっと強化すべきだと思う。
・地域環境活動への助成などの支援
・プラごみ分別の妥当性に疑問がある。本当に環境のためになるのか。国の政策を無批判に受け入れているように見える。区内の環境については、街路樹や公園の樹木を大事にしてほしい。緑道や公園の水辺の流れがここ数年、止められているが、復活してほしい。無駄なイベントやキャンペーンに予算を費やすのではなく、樹木の手入れ等の費用を充実させてほしい。
・エコポリスセンターが近くなのですが、何をやっているのかよくわかりません。広報など見る方なのですが…
・海水温度の高い報道は、区民としては何も出来ないが、身の回りでできることから住みやすい環境を作り、板橋を住みやすい街にしたい。
・中板橋～大山周辺居住ですが、このところマンションが建ちすぎて、地域環境どころじゃなくなっている。景観なども含め、まちづくりを慎重に進めてほしいと思う。
・ゴミ集積所のハクビシン対策
・区民が一人一人、それぞれ取り組めればよいのですが、なかなか難しいと思うので、組織化の仕組みづくりが必要だと思いました。ほとんどの人がスマホを持っているので、関心のあるテーマで区民が繋がることができ、区民が主体となって活動できるようにしてほしいと思います。その仕掛けを区が上手に作ってもらえるとよいかなと思った次第です。

・マンションばかり増やさないとほしい。マンションのような大型住居ばかりを増やして、実際には商店や商店街はどんどんなくなり、自然がなくなり、生活がしにくくなっている。自分を癒したり緩めたりできる場所も同時にできなければならない。
・不要な規制やルールが廃止されること
・収入に依らず環境意識の低い人間が散見されるため、子ども時代の教育・啓発及び親世代の指導の重要性を感じます。環境配慮等の取り組みに対するインセンティブ付与も重要ですが、取り組みに否定的な層のディスインセンティブへの誘導も重要ではないかと。
・一般に生活している人や高齢者はCOP21など興味がない。コストが下がるとかお得ですよとならないと、省エネや環境保護で活動しないと思う。
・少子高齢化が進む中で海外の方を多く受け入れる方向が考えられる中、地域としてしっかりと環境問題への取り組み方が確立されているかは、防犯にも繋がる重要な点だと考える。そして、その取り組みがしっかりと住民に浸透していくかが大切。なかなか、普通に暮らしているだけでは、区の取り組みが見えてこない。
・区が取り組んでいることの周知が区民に届いていない気がします。新聞購読数が減って、区の広報誌を毎週手にする人が減ってきているのではと危惧しています。最近LINEの導入でかなり変わったと思うのですが、プッシュ型の通知はとてもありがたいです。
・ゴミの分別など環境に対する行動を自分の子どもが「他人ごと」のように感じている様子を見る度に残念に思っています。
・同じ板橋区内でも環境がバラバラなので、稲荷台はある意味へき地である。へき地にも救いの手を。
・省エネや再生可能エネルギー推進など未来につながる事業に投資すべき。
・エコポリなど施設が遠いので、近隣の児童館などで朝顔やゴーヤの苗を配布する取り組みはとても良いと感じました。出張で子どもたちへ啓発活動などされていることもいつかは良い方向に繋がり、緑化の魅力ある板橋になるように今後も宣伝できたらと思います。地域清掃に参加してみるとタバコ、マスク、アルミ缶、ビニールゴミなど様々なゴミを回収します。これ子どもが捨てたよね！というゴミはほぼありません。大人たちの捨てたゴミを中学生や小学生が拾っています。ゴミと資源の分別について高齢のご近所さんはゴミの捨て方がわからず、毎日私に確認にこられます。電池の回収が一番大変です。何が正解なのかわからないですが将来の環境と目先の利便性を真剣に考えることが大人にも伝わると嬉しいです。



いたばし・タウンモニター いたばし・eモニター 令和6年度 第5回アンケート結果報告書
板橋区の環境について

令和6年 11月発行

刊行物番号
R06-105